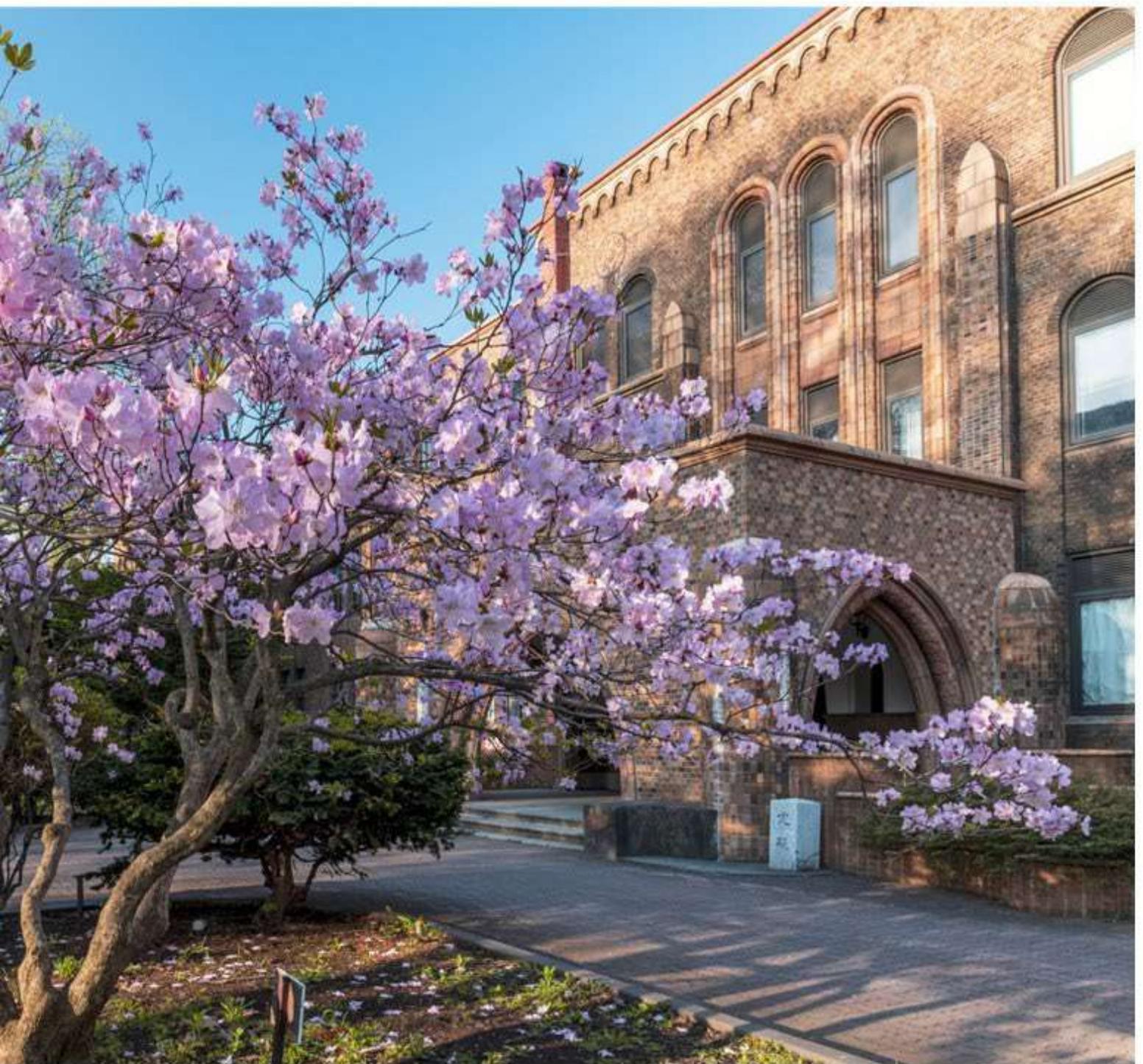


北海道大学関西同窓会会報 第92号 2025年3月

Be ambitious



年会費の納入のお願い

同窓会事業運営の為、年会費の納入を宜しくお願い致します。年会費は同封の払込取扱票にて原則お願いしています。なお令和7年度納入済の方には払込取扱票は同封していませんが、広告掲載者の方は広告料のみの金額の払込取扱票となっています。

令和7年度（2024/9～2025/8）年会費3,000円記載の払込取扱票

令和6年度（2023/9～2024/8）未納の方は2年分の年会費 6,000円記載の払込取扱票

払込取扱票を使用しないで振込される場合は必ず氏名と会員番号（払込取扱票の左下の学部・番号）の記載をお願いします。また、ゆうちょ銀行からとそれ以外の金融機関からでは下記のように口座番号が違います。

郵便振替口座口座名：北海道大学関西同窓会

ゆうちょ銀行からの振込の口座番号： 00920-1-89690

他金融機関からの振込の口座番号：

店名〇九九（ゼロキウキウ）店番 099 当座 0089690

※広告掲載者の方の払込取扱票は、会費と広告料（未払い分を含む）の合計です。宜しく御願います。納入についてお問い合わせのある方はelmkansai@hokudai-kansai.org会計入江宛ご連絡下さい。

会報は関西同窓会ホームページに公開しています

こちらの URL か QR コードからご覧いただけます。

<https://hokudai-kansai.org/category/be-ambitious>



住所変更の連絡とメールアドレスの提供のお願い

送付した会報が宛先不明として返送されたり、メールアドレス不明のためメールを届けられない場合が多数発生しております。住所変更やメールアドレスの新規登録あるいは変更がありましたら、速やかに当同窓会ホームページの一番下にある「お問い合わせ」欄から同窓会宛に連絡をお願い申し上げます。その際、封筒に記載の学部と番号（例：理 087）も「連絡事項」欄に入力願います。ホームページからの入力難しい場合は、同窓会館宛に郵便・Fax でお願い致します。こちらのQRコードからも入力いただけます。



広告出稿のお願い

更なる円滑で充実した活動の為に下記要領で広告をお願いしています。

広告のスペースと代金

1/16 頁 (名刺様式)	3,000円	1/2 頁	15,000円
1/8 頁	7,000円	1 頁	30,000円
1/4 頁	10,000円	連名広告	2,000円/1人

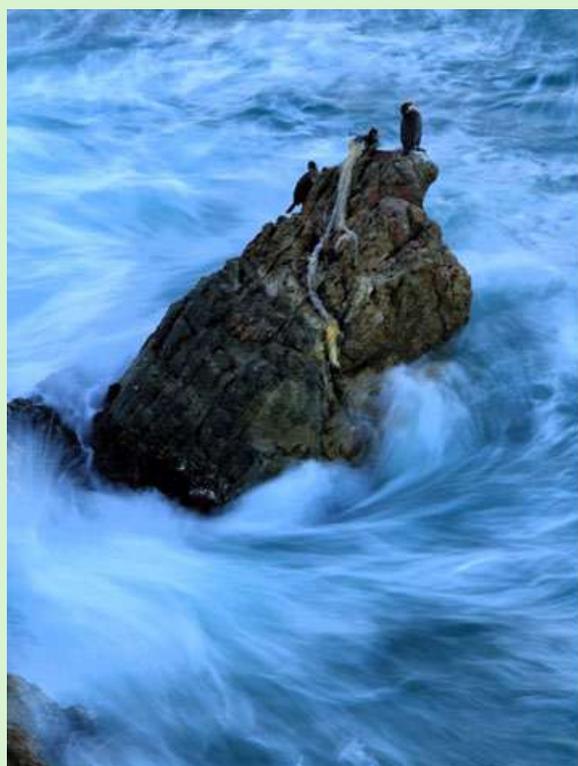
お支払いは、原則として同封の払込取扱票にてお願いします。払込取扱票を使用しないで振込される場合は、上記の「年会費の納入のお願い」に記載の郵便振替口座をお願いします。



① 「チップマunk」



② 「どうしたの？」

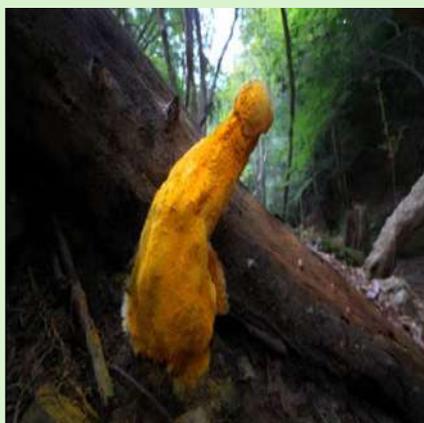
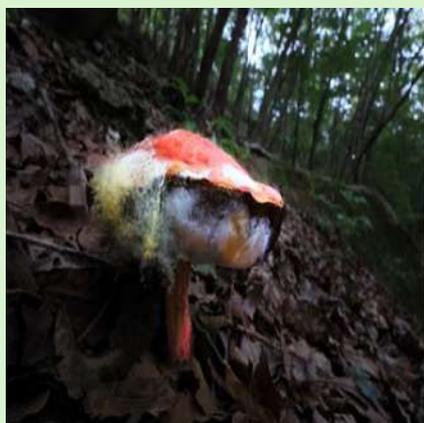


③ 「荒海に生きる」

- ① '96 富士フィルムフォトコンテスト入賞
(米国コロラド州アスペン)
- ② 第 20 回全日本動物写真コンテスト入選
(淡路島モンキーセンター)
- ③ 第 64 回宝塚市展入選
(山口県萩市越ヶ浜)
- ④ 第 49 回 JPS 展入選
(京都府立るり溪自然公園)

高校生物部で始めたネイチャーフォトを、北海道、アフリカを経て、今も撮り続けています。

関 高樹 (1975 (S50) 獣医)



④ 「ハロウィンの森」

北海道大学創基150周年を思う 投稿募集中

150年前のクラーク博士に始まった北海道大学
私たち北大卒業生は自然の残るキャンパスの中、
フロンティア精神に育られました

大学時代 大学院時代

あなたたちは何を学び、何を思っていましたか
紡いできた年月を経て

今、あなたたちが

北海道大学に思う事を教えてください

“Be ambitious”では92～94号であなたたちの
思い出、夢、北大愛を募集します

500字で語るあなたたちの北大愛

elmkansai@hokudai-kansai.org

にお届けください！



写真提供：吉成 久和（S53 文）



北大会館祭（22周年）のご案内

記

開催日時：2025年5月31日（土）13：10～20：00

会場：大阪駅前第2ビル5階 生涯学習センター第1研修室 13：10～16：40

大阪駅前第2ビル2階 北大会館 17：10～20：00

行事内容：挨拶（～13：30）（一社）北海道大学関西同窓会館代表理事

挨拶（～13：40）北海道大学関西同窓会会長 植松高志

来賓挨拶（～13：45）北海道大学理事・副学長 横田 篤

来賓 北方生物圏フィールド科学センター教授 後藤貴文

第1部 講演会

司会 松下秀之

A. 北海道大学の近況と将来への取組み（仮）（～14：50）

北海道大学理事・副学長 横田 篤

B. 先端生物科学、IoT及び宇宙技術による戦略的スマート放牧技術の可能性

～スマートフォンで牛を飼おう～（～15：50）

北方生物圏フィールド科学センター教授 後藤貴文

C. スリランカでの大仏建立とその際考えた仏教のこと（～16：40）

（一社）北海道大学関西同窓会館理事 日下大器

会場を大阪駅前第2ビル2階 北大会館に移動する

第2部 物産販売 17：10～

担当 入江和彦

予約販売ですが当日売りもあります。裏面の申込用紙をご利用ください

第3部 懇親会（～20：00） 会費 3,000円

担当 大橋人司

講演会・懇親会への出欠を5月24日までに裏面のいずれかの方法でお知らせください

物産販売

小樽産の水産加工品（常温保存）と香川県の讃岐うどんを用意しています。当日のご購入にもできるだけ対応致しますが、予約注文をお願いします。ご注文をお待ちしています。

予約注文は、会館祭出席連絡と同時にお願いいたします。

品名		製造会社	価格
にしん甘露煮	110 g	堀内水産食品（株）	550 円
ししゃも甘露煮	130 g	堀内水産食品（株）	550 円
干し棒たら炊き	180 g	小樽かね丁鍛冶	550 円
縞ほっけふっくら小樽煮	170 g	小樽かね丁鍛冶	550 円
田舎炊き	150 g	小樽かね丁鍛冶	550 円
つぶ貝小樽煮	100 g	小樽かね丁鍛冶	550 円
ヤン衆まるごと鯨	180 g	小樽かね丁鍛冶	550 円
半生讃岐うどん	2 人前 つゆ付	石丸製麺（株）	500 円

会館祭出欠ならびに物産販売の注文の連絡について

会館祭出欠ならびに物産販売の注文は、下記の項目について、e-mail あるいは Fax または Google form にてお知らせください。

締め切りは5月20日です。よろしくお願いいたします。

1. 氏名 卒業年次 卒業学部学科
2. 連絡先（メールアドレス Fax 番号など）
3. 講演会出欠：出席 or 欠席
4. 懇親会出欠：出席 or 欠席
5. 北海道物産の注文：品名 個数

連絡先：e-mail：elmkansai@hokudai-kansai.org

Fax: 06-6343-3736

Google form： <https://forms.gle/AKisStc5C4Tsj8gs9>



一般社団法人北海道大学関西同窓会館からのお知らせ

～理事（24期・25期）立候補者の募集案内～

北海道大学関西同窓会の会員の皆さまへ

一般社団法人北海道大学関西同窓会館は関西同窓会の発展を図るために北大会館の活用、運営を担っている法人です。

本年は理事の改選年にあたります。理事の任期は2年間（2025年9月～2027年8月）です。立候補者は9月21日（日）に開催される社員総会で選任されます。

同窓生の皆さまの立候補を歓迎いたします。

立候補される方は、8月1日（金）までに下記の立候補届出用紙に記入の上メールで送付あるいはGoogle formで登録をお願いします。北大会館に持参していただいても結構です。

（一社）北海道大学関西同窓会館

Tel & Fax : 06-6343-3736

メールアドレス : elmkansai@hokudai-kansai.org

Google form : <https://forms.gle/2meHUYdbN3FZZb8fA>



【立候補届出用紙】

私は、（一社）北海道大学関西同窓会館の理事に立候補します。

氏名	卒年・学部・学科		
	年卒 年卒	学部 研究科	学科 専攻（院）
住所：〒			
電話番号：			
メールアドレス：			

北大会館サポーターのお願い

平素より一般社団法人北海道大学関西同窓会館に関心をお寄せくださり、誠にありがとうございます。北大会館は同窓生の寄付によって大阪駅前第二ビルの一室を購入したものです。2003年の開館以来、みなさまのご理解ご協力のおかげで、同窓生の拠点として多くの方々に利用されてきました。

会館の運営資金は関西同窓会・北海道大学からの受託収入、会議室利用料金、イベント開催の利益等による収入です。昨年来、第二ビル管理費値上げをはじめ諸物価の高騰によって経営状態が悪化し、第22期（2023年8月～2024年7月）の決算は多額の赤字となりました。このままでは存続が危うくなる可能性もあります。

そこで、北大会館サポーターとして経済的なご支援で運営を応援していただける方を募集します。いただきました寄付金は北大会館の運営（第二ビル管理費、当番交通費、諸雑費など）に使わせていただきます。また、開館から20年を経て劣化した設備も多々あり、それらの更新にも使わせていただきます。

皆さまからいただいたご寄付で実施した活動や成果は、北海道大学関西同窓会総会や会報 Be ambitious などでご報告させていただきます。また、ご寄付いただきました方々のお名前は同会報に掲載させていただきます（希望者のみ）。

今後も会館の運営に努力する所存でございますが、同窓生の拠点となります北大会館が存続できますよう、ご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

募集の詳細は以下をご覧ください。

一般社団法人北海道大学関西同窓会館 代表理事 田島朋子、波多 勇

北大会館サポーター募集要領

ご寄付の方法：ご寄付は銀行振り込みでお願いします。

ご寄付の金額：一口 5,000円から

領収書の宛名・宛先：必要とされるかたには領収書をお申込み時のご登録名、ご住所に郵送いたします。お申込み情報と領収書の宛名・宛先が異なる場合は、寄付申込フォームに宛名と領収書送付の宛先をご入力ください。

領収書の発行について：ご入金を確認できた日付で発行いたします。

紛失などによる領収書の再発行はいたしかねます。

税法上の取扱について：個人による寄付は所得控除の対象にはなりません。法人による寄付は一般寄付金の損金算入限度内で損金算入が認められます。

寄付申込は以下のGoogle form、またはメールでelmkansai@hokudai-kansai.org まで、ご連絡ください。振込口座をお知らせします。メールで連絡をいただいた方には申込書をお送りします。

<https://forms.gle/DvLVi5yMhMrFb3Qf9>



目 次

巻頭言	学ぶことは楽しいこと	岩堀 隆志	8
特集			
1	北海道大学創基150周年を思う	植松 高志	9
2	2025年第64回国立七大学総合体育大会 アイスホッケー部門 全勝優勝	牧野 俊一	11
行事			
1	北海道大学関西同窓会 2024 年総会報告	福井 毅	14
2	特別講演 1:ワインの魅力:地域の持続性を高める鍵として	曾根 輝雄	16
3	特別講演 2:人間とAI の共存で豊かな未来	川村 秀憲	19
4	北海道大学関西同窓会新年会に参加して	篠原 繁則	21
会員活動			
1	北海道大学合唱団OB会第12回演奏会	室田 信男	23
2	地球温暖化というグローバルな課題に対し ローカルの一行政職員として 取組んできたこと	津田久美子	25
3	ちょっと珍しい OB 会「教養理類同級会」	高柳 枝直	29
4	北海道は私の青春の場所	中山 淳	32
5	一遙かなる古代への旅―「みんなで学ぶ古代史の会」がスタート! 三津 正人		33
広告			35
同窓会活動			
1	琵琶湖ジンパ参加の感想と大学時代の思い出	中村 聡宏	40
2	第29 回歴史ウオーク〜「源氏物語ゆかりの地、宇治を巡る〜	三段崎俊彦	42
3	第 19 回文楽観劇会に参加して	牧野 俊一	46
4	天王寺動物園見学会に参加して	小澤 裕子	48
5	二水会・三金会の講演一覧(2024 年 9 月〜2025 年 2 月)	藤田 久美	50
6	2024 年 9 月三金会: 節足動物の生殖を支配する微生物	田島 朋子	51
7	2024 年 11 月三金会: 「かおり」が繋ぐコミュニケーション	塩尻かおり	51
8	2024 年 12 月二水会: 南海トラフ地震の再認識と 大阪市街地の現状と課題	伊藤 靖久	52
9	2024 年 12 月三金会: 水族館の哺乳類	荒井 一利	52
10	【2025 年 第 1 回 北大 関西同窓会 若手交流会 開催報告】 ～関西在住の北大同窓生と北海道直送の 旬の料理、楽しみませんか!～	近藤 武憲	53
石澤 登氏(S37 農)を偲ぶ	窪田開拓 波多 勇 下岡健藏 井上和男 植松高志		55
お知らせ			
1	本学関連のトピックス	本学広報課	58
2	役員会議事報告	福井 毅	60
3	2025年度 北海道大学関西同窓会 役員名簿	福井 毅	62
4	北海道大学関西同窓会 2025年2 月〜2025年10月スケジュール	福井 毅	63
5	入退会者情報	福井 毅	63
編集後記			編集委員全員 64



岩堀隆志（2004（H16）農・農工）

学ぶことは楽しいことと思い、札幌農学同窓会関西支部の秋季講演会の「ワインの魅力：地域の持続性を高める鍵として」および北海道大学関西同窓会の特別講演会の「人工知能の未来 ChatGPTの先に待っている世界」を聞きに行かせていただきました。

私は農学部を卒業して農業機械に関わりを持つ企業に就職し、現在は世の中でよく耳にするようになったDXにも社内で関わらせていただいているため、今回の2つのテーマはとても魅力的に感じて楽しみにして伺いました。

ワインのお話は温暖化が進んでいく中で北海道がブドウ栽培の適地になっていくこと、品種改良で寒冷地にも適したブドウが作られてきたこと、ワインの経済効果の試算などもお示され北海道でのワイン造りの必要性をご説明いただきました。温暖化の説明では北大の研究成果である数十年の北海道の温暖化の推移を示され、その図の中にブドウの栽培に適した温度が示されていました。その図を見ると段々とブドウ栽培の適地が広がっていくのがわかり栽培の選択肢としてブドウを選ぶ合理性を理解できました。寒冷地に強い品種は他の品種と比べて寒さに強いというのを写真でご提示いただき、ブドウは手のかからない植物で農家さんによっては植えてから追肥をしない方もいるというお話をされていました。ワインの経済効果では海外視察された写真を交えながら、ワインのツアーやイベントの価格なども示され夢を感じるお話でした。ワインを通してブドウの栽培（農家さんの利益）や観光業の振興（旅行業や飲食、交通に関わる企業の方の利益）、それを支える知識の習得や教育（大学の

利益）を想像させてくれる講演だったと思います。

農林水産省の国産品を推奨するキャンペーンや酪農家さんの海外産品との競争についてマスメディアを通して見聞していると農家さんの大変さを感じ、また、大学の競争や地方の衰退についての話を聞くとそれぞれの課題を感じる日本ではあるのですが、今回のような夢がある話を聞けると前向きな気持ちになれ良いなと思います。北大の卒業生としては大学の活躍および北海道が元気であることはうれしく感じます。北海道を離れると直接できることは少ないのですが微力でも協力できたら良いなと思い、北海道に行った際には農学部が関わられた「まるごと道産素材の蝦夷福神」を買わせていただいたり、研究への寄付をさせていただいたりしています。

人工知能の未来のご講演ではChatGPTがどのように文章を生成していくかをわかりやすく説明いただき、人工知能を使った企業との共同研究もファッションの数値化の事例などを使いご説明いただきました。色々な企業がChatGPTや生成AI、人工知能を使っているという話を聞く中で大学としても盛んに研究されていることが知れました。個人的に松尾研究室の成果についてマスメディアを通して聞くことが多く、松尾研を卒業された方がベンチャー企業を立ち上げられ活躍されているそうです。川村先生のベンチャー企業の立ち上げのノウハウ等も活かされて、北海道からも多くのニュースが聞こえてくることを期待しています。

講演の内容は私の記憶で書いていますので間違いなどはお許しいただくと幸いです。



北海道大学創基150周年を思う

北大関西同窓会会長 植松高志（1973（S48）法）



私は関西同窓会会報「Be ambitious」の編集委員の一人です。会報第92号編集委員会議で、「2026年に母校北大は創基150周年を迎える。大学では記念事業を力強く進めている。関西同窓会でもそれを支援する活動の一環として、会誌：Be ambitious、92号～94号で北大愛や思い出から考えた事柄等について寄稿いただく」ということになりました。

ここで、<北大の創基150年について>と<私の「北大創基150周年を思う」>を下記に述べます。

<北大の創基150年について(北大HPより要点を抜粋)>

北海道大学の起源は、日本で最初期の学位授与機関(大学)として設立された札幌農学校に遡ります。1876年開校の札幌農学校から、帝国大学、新制国立大学の時代を経て、2026年(令和8年)に本学は創基150周年を迎えます。「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」及び「実学の重視」という四つの基本理念を建学の精神として掲げ培ってきた本学は、力強い発展を遂げて参りました。

2026年は、創基150周年の記念すべきマイルストーンの年として、また、唯一無二の「比類なき大学」として、世界の課題解決に貢献する大学を目指す、次の150年のスタートにもなります。

北海道大学は、「光は、北から」を合言葉に、創基150周年記念事業を進めます。次の3つのテーマを一体として推進することで、より明るい社会の実現を目指します。

① SUSTAINABILITY～150年先の未来を守るために～

北海道大学は、サステナビリティの取組にも挑戦しています。教育や研究はもちろん、社会連携や自然環境と調和したキャンパス整備を通して、持続可能な社会の構築に貢献して参ります。取組のひとつの結実として、「THE インパクトランキング 2022」において世界第10位にランクインしています。北海道大学はこれからも、SDGsの達成と、地域社会・世界への貢献へ向けて、挑戦を続けて参ります。

② INNOVATION～世界の課題解決へ向けて～

「世界の課題解決に貢献する北海道大学へ」をスローガンに、山積する課題の解決に挑戦します。具体策のひとつは、社会とのさらなる連携。自治体や企業など、様々なステークホルダーとより強い連携を図ることで、新しい社会像を描き、それを実現していくイノベーションの創出を推進します。加えて、本学を起点とした研究開発型のスタートアップ創出を加速させ、持続的にイノベーションを生み出すためのエコシステムの形成も推進しています。

③ DIVERSITY ～多様性にひらかれた教育・研究の場へ～

北海道大学は、2021年12月に「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」を行いました。さまざまな個性が交わる教育・研究の場においてこそ、多様性の包摂が重要になっていきます。人種や国籍はもちろん、年齢や性別、そしてライフスタイルまで。すべての個人の尊厳が守られ、ひとりひとりが誇りを持って前に進むことができる大学へ向けて多様性を尊重し、豊かな共生の在り方を実現するための挑戦をはじめています。

＜私の「北海道大学創基 150 周年を思う」について＞

私の北大生活は 1969 年 4 月～1973 年 3 月です。受験の時は東大入試中止等、全国に学園紛争の嵐が吹き荒れていました。私は長野県の出身で出願していた志望校を変更し「都ぞ弥生の“清き国ぞとあこがれぬ”」を受験することにしました。青函連絡船では「都ぞ弥生」が流れたことに勇気づけられました。入学して僅か 2 週間の 4 月 28 日に全学連が構内封鎖し講義もできない状態となりました。年末年始に帰省していた実家に「講義再開」のハガキが届き急いで北大に向かいました。ようやく大学生になれたとの喜びはありましたが、私の大学生活は「応援団、恵迪寮・桑園学寮、寮歌」に集約されると思います。学業の言葉は入りませんが、北海道をくまなく旅し、クラブに寮生活に充実した 4 年間であったと思います。

生涯の友もできたことも良きことです。社会人になっても、応援団のつながり、学寮での付き合い、同窓会活動等々、人生を豊かなものとしてくれていると思います。

私は現在、北大校友会エルム副会長、北大関西同窓会会長を仰せつかっていて、母校北大と関りは深いものとなっています。特に札幌農学校に始まる 150 年になろうとする歴史には誇りと畏敬の念を抱く次第です。

2026 年に「北海道大学創基 150 周年」を迎えるに当り母校の様々な力強い取り組みに敬意を表し、「唯一無二の“比類なき大学”として、世界の課題解決に貢献す

る大学を目指し、次の 150 年のスタートになる」ことに大々エールを送ります。

＜追記＞

この度、大先輩の「牧野俊一氏（S38 理・動）から「2025 年第 64 回国立七大学総合体育大会アイスホッケー部門 全勝優勝」の寄稿を頂きました。

牧野氏は 2024 年 11 月 9 日（土）の「関西同窓会第 19 回文楽観劇会」に奥様同伴で名古屋から参加されました。私は、恵迪寮の大先輩でもあり親しくお話をする中で、「北大体育会の役員として七大戦の設立に奔走されたこと、また、アイスホッケー部に所属し大活躍されたこと」を知り、会報「Be ambitious」に寄稿をお願いした次第です。

牧野氏からは、七大戦の設立に関わる自筆の原稿と膨大な資料とが送られてきました。また、2025 年の七大戦は「9 周年目に入る第 64 回は北大が主管校」であり、40 余りある競技の初戦はアイスホッケー部門で 2024 年 12 月に月寒体育館で熱戦が繰り広げられました。牧野先輩は名古屋から応援に駆け付けられその観戦記もお送り頂きました。何枚にも及ぶ自筆の原稿には感謝申し上げる次第です。

会報編集委員会の方で、二つの原稿を合わせて編集させていただきました。

この寄稿を「北海道大学創基 150 周年に寄せて」の特集にて掲載させていただきます。



写真提供：吉成久和（1978(S53) 文）

牧野俊一 (1963 (S38) 理・生物)



2025年第64回七大会は、北大が主管校で9周年目に入ります。七大会では40余りの競技が9月まで繰り広げられますが、先陣を切るのがアイスホッケー競技です。2024年の七大会は、名古屋大学が

主管校で北大は見事「総合優勝」を果たしました。アイスホッケー部は惜しくも2位で東大に後塵を拝しました。今年は主管校だけに総合連覇に期待したいところです。

私は、1958年に北大に入学し恵迪寮に入寮、アイスホッケー部に入りました。そこで、OBとして昨年12月に行われたアイスホッケーの応援に自宅の名古屋から馳せ参じました。

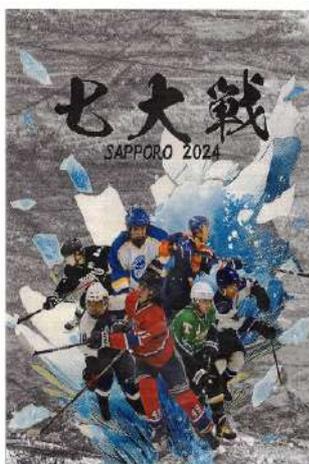
会場は、1972年冬季オリンピックの会場となった月寒体育館で、競技は2024年12月9日～12月15日の日程で行われました。最終順位と勝点は以下のとおり、()内は勝点です。

- 1位：北海道大(18) 2位：東京大(15)
- 3位：大阪大(12) 4位：東北大(9)
- 5位：九州大(4) 6位：京都大(4)
- 7位：名古屋大(0)

北大は全勝の好成績で第1位を獲得し、総合得点表に堂々の勝点18点が記録されます。幸先良い結果にあやかり、今年は主管校だけに総合連覇に期待したいところです。

この大会を通じて印象深かったのは北大応援団の動きでした。5頁ほどの「第64回国立七大学・アイスホッケー応援レジメ」が応援者全員に渡されました。レジメには、校歌、桜星会歌、寮歌に加え、応援の流れが記載されていて、応援メンバーは、応援団のリードで他を圧倒

する一糸乱れぬ応援ができました。これなかりせば、今回の優勝のみならず「64大会中、優勝38回」というような結果は出せなかったかも知れないと思いました。私は、伝統あるアイスホッケー部員OBとして、大変印象深く感動を覚える大会となりました。



アイスホッケーパンフレット



各大学の紹介

「スポーツ八十年史」には、我が国でスケートを滑った最初が、1877年札幌農学校講師ブルックス、また、1923年に北大の本科と予科が我が国最初のアイスホッケーの試合を行ったことが記載されています。アイスホッケーの嚆矢は北大なのです。これも誇るべきことです。

ここで私が当時、北大体育会役員として七大会発足に奔走したことにも触れたいと思います。

第1回国立七大学総合体育大会は今から60余年前の1962年、北海道大学で開催されました。旧七帝大定期戦として、種目ごとに行われていたものを、本大会を通じて国立大学のスポーツ水準の向上をはかり、併せて、全国学生相互の交流と親睦を深めるという意図のもとに、「総合体育大会」として新たに発

足させたものです。開会式には各大学の学長が出席、開会式の後、学生部関係者の懇談会が行われました。体育会役員として出席した私は、特に、大阪大学学長赤堀先生のご出席があったこと、九州大学学生部部長原敏之先生が次年度の主管校を引き受けてくださったのがとても嬉しかったことを記憶しています。大会成立には数々の難題を乗り越えなければなりませんでしたが、引き続き第2回大会が九大主管で開催されることに安堵したというのが正直なところです。

国立七大学戦総合化への夢は、1957年、北大体育会高橋委員長(空手部所属)時代に持ち上がりました。この年、北大ボート部はオリンピックローマ大会出場を賭けて予選開催地・戸田コースにのりこみます。高橋体育会委員長はじめ主要体育会委員および応援団も団長他数名が大太鼓をひっさげ、羽織・袴姿で応援に駆けつけました。体育会は学生課のアドバイスを踏まえ、七大学戦総合化のため東大の協力を得ようと考えていました。そこでボート応援を名目にして、高橋委員長、白井副委員長、稲見委員、私牧野委員の体育会常任理事が、本郷東大キャンパスで東大体育会と接触、その趣旨を伝えました。幸い、東大体育会の基本的合意を得ることが出来、まず小さく第一歩をふみだすことができました。肝心のボートの結果はシュルエイトで東北大が優勝し、東北大学が日本代表としてローマ大会に出場しました。

1960年には安保闘争のあおりを受け、国立七大学戦も種目によっては試合を中止、体育会もこの時期は活動を停止していたと言ってもよいほどでした。そんな中、七大学戦総合化の活動も活発に行うことができずでした。秋に入って安保問題も落ち着き、体育会も稲見芳治委員長が活動を再開しようという時に学生課人事に大きな異動がありました。北大出身の苫米地秋郎先輩が、学生課課長補佐に着任され、これでいっきに活動にはずみがついたと云っても過言ではなからうと思います。新任の稲見芳治体育会委員長は殆ど毎日のように陸上グラウンド脇の苫米地宅にお邪魔し、七大学戦総

合化実施に向けて方向を「学生が自主的に行う」と決めたように記憶しています。

さらに、翌年交代した阿竹宗彦体育会委員長(応援団長)の踏ん張りには目を見張るものがありました。目に見えない女房役として会計役を務め通した前川匡志君(準硬式野球部)のお骨折りも忘れられません。体育会に総務として残った稲見氏、阿竹氏、前川氏と私牧野の四人五脚で各大学体育会を歴訪し、協力を取り付けました。以降、各大学体育会委員長会議を重ね、1962年3月の合同会議で大会の大綱と大会スケジュールが合意されたのです。

詳しい経緯については、苫米地秋郎先輩が1990年の学士会報に「国立七大学戦総合体育大会(七帝戦)の思い出」と題して載せられています。

インターネットでも読むことができますので、ご参照ください。

https://www.gakushikai.or.jp/magazine/article/archives/archives_789_2/

*第1回大会は競技種目23種目(男子20種目、女子3種目)。参加者2,219名(内女子108名)でしたが、現在は参加人数は8,000名を超え、学生が主体となって行われるものとしては日本最大級の大会となっています。誠に感慨深いものがあります。

七大学戦とは

全国七大学総合体育大会、通称「七大学戦」は、北海道大学・東北大学・東京大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学・九州大学の七つの大学間で行われる体育大会です。主管は持ち回りで、各大学の体育会が中心となって運営を行います。

参加人数は8,000名を超え、学生が主体となって行われるものとしては日本最大級の大会となっています。

40を超える競技種目ごとに順位をつけ、総合得点で競い合います。

(第63回大会優勝校：北海道大学)

七大戦の歴史

1964年東京オリンピックよりも更に遡ること1962年の北海道。七大学の各運動部は「高専柔道大会」を参考に七大学の持ち回りで独自に交流戦を行っていました。そんな中、北海道大学の学生が、「これらの交流戦を1つにまとめ上げ、大学対抗で競えば面白いのではないか」と提案しました。彼は各地の旧帝国大学を巡り、賛同を集めていきました。そして、「第1回国立七大学総合体育大会」として七大戦が始まりました。当時は20競技の大会でした。50年を超える歴史の中で、自校の伝統と誇りをかけ、七大学は競い合っています。

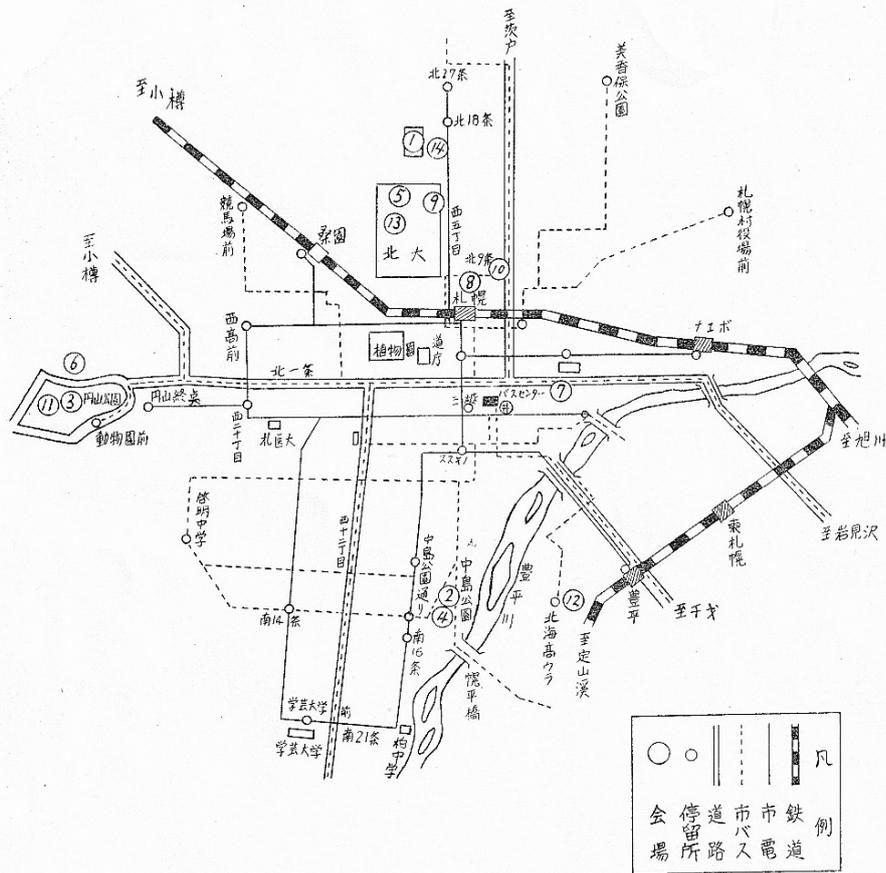
七大戦の運営理念

1. 真のアマチュアリズムの追求
2. 学生による自主運営
3. 競技レベルの向上
4. 他大学との親睦をはかる
5. 運営費の削減

(参考：全国七大学総合体育大会 HP)

下の図は第1回国立七大学総合体育大会会場案内図です。現在の札幌の地図と比べてみてください。

第1回国立七大学総合体育大会会場案内図



- | | | | |
|----------|------------|---------|---------|
| ① サッカー | 北大サッカー場 | ⑧ 剣道 | 札鉄体育館 |
| ② 硬式野球 | 中島球場 | ⑨ 柔道 | 北大道場 |
| ③ 準硬式野球 | 円山球場 | ⑩ バスケット | 北九条小学校 |
| ④ 卓球 | 中島スポーツセンター | ⑪ 陸上競技 | 円山競技場 |
| ④ バドミントン | | ⑫ ホッケー | 札商ホッケー場 |
| ⑤ 弓道 | 北大弓道場 | ⑬ 馬術 | 北大馬場 |
| ⑤ 軟式野球 | 円山コート | ⑭ 水泳 | 北大プール |
| ⑥ 庭球 | | | |
| ⑥ バレーボール | | | |
| ⑦ 空手 | 市立体育館 | | |

福井 毅 (1980 (S55) 理・生物)

2024 年 10 月 19 日 (土) 13:30 から大阪心斎橋のホテル日航大阪にて、総会が行われたので、総会の内容を報告します。

開会に先立ち、この一年間に物故連絡をいただいた 21 名の方々へ黙祷を捧げました。次に、来賓・講師である北海道大学理事・副学長 最高サステナビリティ責任者の横田篤様、同大学院農学研究院並びに北海道ワイン教育研究センター長の曾根輝夫教授、並びに同大学院情報科学研究科川村秀憲教授、そして同社会共創部部長の辻賢司様、同窓会関係として北海道大学東京同窓会副会長の櫻田巧様、小樽商科大学同窓会社団法人緑丘会関西支部支部長遠目塚重伸様、一般社団法人室蘭工業大学同窓会関西支部支部長黄海修三様、最後に北海道大阪事務所所長平田孝之様のご紹介となりました。引き続き、北海道大学関西同窓会の植松高志会長(S48 法)から挨拶となりました。植松会長は昭和 37 年 10 月の同窓会設立から現在までを振り返り、諸先輩の熱意と努力に感謝し今後の発展を呼びかけるとともに、当同窓会発展のカギは「会報“Be ambitious”の充実」と「北大会館の活用」であると強調されました。一方、課題は「若手の入会が少ない」「財務体質の強化」であり、この解決については、会員諸氏のご協力・ご支援をお願いされました。

その後、植松会長が司会となり、2024 年度の事業と会計報告並びに監査報告、2025 年度の事業計画と予算の説明に移りました。2024 年度(2023 年 9 月～2024 年 8 月)の事業報告は、2023 年の総会並びに講演会、4 回の役員会の議案の報告、例年の行事、並びに総務企画委員会が平成・令和の卒業生を対象とした交流会を 2 回実施したこと、会報編集委員会からは例年どおり年 2 回の「Be ambitious」発行ができたが、クロネコ便の撤退により発送費用が増加したこと、情報処理委員会からは当同窓会のホームページからの正会員申込を判り易くするとともに北大

会館についても紹介できるようメニュー構造を変更したこと、産学連携委員会からは年間の活動まとめ、そして(一社)北大会館の活動を含む他の関連活動等の報告がありました。

入江和彦理事(S45 水)からの 2024 年度会計報告では、総収入は 289 万円で、年会費と校友会支援金は例年並みだったが、広告収入は前年の 85%程度と減少した。総支出は 339 万円で、総会関係費、同懇親会費、会議費は予算よりも少なかったが、会報発送費はこれまで利用していたクロネコ便が利用できなくなり、90 号は大幅に予算を超えた。また、北大会館の赤字を補填するため年間支援金として本年は 54 万円を支出した。そのため、本年は 50 万円の赤字となったとの説明でした。

続いて福島監査役からの監査報告の予定でしたが、福島監査役が急遽来られなくなったので、福井が監査役の承認を代読しました。

ここで、植松会長から出席者に 2024 年度事業報告、会計報告、並びに監査報告についての質疑並びに承認を求めたところ、会場から承認されました。

続いて、2025 年度の事業計画として、会員拡大と組織強化のため、会員数の拡大を図るこれまでの活動や交流会等の企画開催に努めるとともに、同窓会内の業務効率化を図るために効率的会員管理法を導入すること、会報については年 2 回の発行を維持するとともに、内容の見直し・発送数の削減・制作方法の見直しなどによる経費削減を行うこと、そして 2025 年度の役員・組織に変更がないことを福井が説明しました。

2025 年度予算案は入江和彦理事から、収入計画は年会費、総会懇親会費、広告収入、校友会支援金が主なもので総額 303 万円、支出計画は会報印刷と発送費、総会費、北大会館への業務委託費並びに北大会館支援金が主たる支出となり総額 299 万円となるので、収支は黒字を見込んでいるが、年会費と広告収入が予算通りに

なることが必須であると説明がありました。

最後に「一般社団法人 北海道大学関西同窓会館」の波多勇代表理事（S43農）から北大会館の活動報告がありました。第22期（2023.8～2024.7）はこれまでのように企画事業、賃貸事業、貸会議室、物品販売を行ったが、コロナ禍以前まで回復しておらず、決算では75万円ほどの赤字となりました。そこで、第23期（2024.8～2025.7）での黒字化と財政健全化を目指すため、1）貸会議室の利用促進、2）開催イベントの充実と二水会・三金会のオンライン参加の有料化、3）理事会の半数をオンライン開催にするなどの経費削減、4）北大会館サポーターの募集と会館に募金箱を設置する、5）一般社団法人から「非営利型の一般社団法人」へ変更を行うとの説明がありました。以上で総会は無事終了しました。

引き続き行われた講演会の内容は、本誌に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

講演会後は、司会が杉森隆志理事（H13法）に代わり、懇親会となりました。まずは例年どおり北大合唱団OB会関西支部の皆様による合唱とお話を楽しんでいたが、来賓の方々から一言いただいた後に、横田理事・副学長からご挨拶と乾杯発声となりました。乾杯のお酒は曾根先生から提供いただいたシードル（リンゴの発泡酒）で、辛口でおいしいと皆様に好評でした。そして食事と歓談にうつり、皆さん移動しながらお話を楽しまれており、なかなか終わらない様子でしたが、山田勝重（S53農）札幌農学同窓会関西支部長が中締めし、全員で肩を組み輪になって、植松会長の音頭で都ぞ弥生を歌ってお開きとなりました。



合唱団 OB の演奏



来賓・講師を囲んで
左から川村先生、曾根先生、一人おいて、山田理事長、植松会長、横田副会長



参加者全員で都ぞ弥生

特別講演 1：ワインの魅力：地域の持続性を高める鍵として

北海道ワイン教育研究センター長 曾根 輝雄（1992(H4) 農・農化）



北海道大学では、2022年に北海道ワイン教育研究センターを開設し、2023年9月には旧昆虫学及養蚕学教室を改修した北海道ワイン教育研究センター棟を開所

し、北海道内のワイン産業の振興につながる教育研究に力を入れ始めた。何故今北海道大学がワイン教育研究に取り組むのか？ワイン産業の課題解決と、その先に見据えるさらに大きな目的について解説するのが本講演の目的である。

ワインとは、ブドウを発酵させたアルコール飲料である。農産加工品は加工することで付加価値が得られる。例えば、醸造用ブドウの原料は400円/kg程度だが、同じ量から作られるワイン1本(750mL)は約3,000円となる。しかし、それだけがワインが世界中で作られ、消費される理由ではない。ブドウは比較的適応度が高く、生育環境を選ばない。だからこそ世界各地でブドウが、そしてワインが作られる。また、ワインを作る際にはブドウを洗浄・殺菌せず、収穫してきたブドウの果汁のみで作られる。ワインの液体は全てブドウに由来するし、その発酵にはブドウに付着した酵母が関わっていて、その土地の特徴が反映されやすい。さらに、ワインの面白さは同じ種類のブドウから異なるワインを作ることが出来ることである。例えば緑色のブドウからは白ワインだけでなく、オレンジワインを作ることが出来るし、黒色のブドウからは赤ワインだけではなくロゼワインを作ることが出来る。白やロゼからはスパークリングも作ることが出来、造り手の個性も反映させることができる(図1)。長い歴史の中でこのようなワインの作り方がそれぞれの土地に定着していくと、ワインのスタイ

ルが完成する。例えば、シャンパーニュは伝統的製法で作られたスパークリングワイン、またボルドーといえ、カベルネソーヴィニヨンやメルローなどを使用したフルボディの赤ワインなど、ということになる。さらにそれぞれ醸造所や畑ごとに異なる味わいを楽しむ。これこそ、「テロワール」を楽しむということだ。

テロワールとは、ワインのみにある土地の個性を示す言葉ではなく、その地域の食や産業など、ワインを取り巻く全ての物をも包含するとも言える。世界的に著名なワイン産地であるナパヴァレーは、カリフォルニア州の一地域で、ここに年間360万人の観光客が訪れ、44,000人の雇用を創出している。その経済効果は総額130億ドルにのぼり、日本ハムの新球場Fビレッジが北海道にあたる経済効果(1,114億円)の17倍以上である(図2)。世界中のワイン好きがナパヴァレーにワインを楽しむ為に押し寄せていることがその大きな要因である。これは、世界の銘醸地に限ったことではない。私はインドネシアのバリ島を訪れた際、現地のワイナリーを訪問した。その巨大さに驚いたのだが、さらにそのほとんどが島内で消費されていることを聞いてさらに驚いた。世界的リゾート地であるバリ島にやってくる欧米からの観光客がテロワールを楽しむ為に現地のワインを飲むのである。

北海道において現在最も重要な社会課題は人口減少であろう。これに対し、ワイン産業は、地域の農業、食品産業、観光業などと強くつながり、大きな経済効果や雇用創出をもたらし、北海道の抱える人口減少等の問題を解決することが期待される。現在北海道で新たにワイナリーを開設される多くの人々が40歳以下であり、道外からの移住者である。またワイナリーを中心に食資源、観光資源をつなぎ、北海道の中にいくつもの「ナパヴァレー」の

様なワイン産地が出来れば、北海道の課題は解消されるだろう。だからこそ、北海道大学では、このワイン産業を北海道の持続性を高める重要なキーと考えている。

現在の北海道におけるワイン造りにつながる端緒は、1963年の池田町ブドウ・ブドウ酒研究所（十勝ワイン）の設立である。その後2000年までは道内7ワイナリーの時代が続いたが、この時期には、現在に通じる寒さや積雪に対応したブドウ栽培方法の基礎が築かれた。2000年以降になると、家族経営の小規模のワイナリーが多く設立されていく。この背景には地球温暖化の影響があることが示されている。2015年以降、北海道のワイナリーを取り巻く環境は大きく変わっていく。北海道経済部による「ワイン塾」「北海道ワインアカデミー」が2015年に開始され、すでに200名を超える修了生を輩出し、数多くの新規ワイナリーの設立につながり、北海道のワイナリー数は2024年末現在で71軒、山梨県、長野県について第3位、ワイン生産量では山梨県について第2位となった。また、2018（平成30）年6月には、ワインとしては日本で2番目の地理的表示「GI北海道」が認められた。

上記の様に、現在、北海道は日本を代表するワイン産地の一つとなったが、まだその品質やワイナリーの経営等は安定していない。ワインの品質を高め、世界中から人が集まる産地にするために、北海道大学はワイン教育研究に取り組んでいる。北海道大学には2021年に寄附講座「北海道ワインのニューヴェルヴァーグ研究室」、翌年には「北海道ワイン教育研究センター」が組織された（図3）。そこには、私の所属する農学研究院を始め、工学研究院、地球環境科学研究院、メディア・コミュニケーション研究院など、幅広い専門分野の研究者が集っており、総合大学の強みを活かしてワインを取り巻く様々な課題解決につなげようとしている。また、同センターの教員が中心となって開講している大学院生向けの講義「北海道サステイナブルワイン学」はこれまでに600名を超える履修生を輩出している（特に2024年度は240名が履修）。またシンポジウム「北海道ワインシンポジオン」を毎

年開催し、道内のワイン関係者が研究成果を共有する場を提供している。2022年には北海道庁や各研究機関、大学等産官学金からなるワイン産業支援組織「北海道—ワインプラットフォーム」も設立されている（図4）。

2023年9月に「北海道ワイン教育研究センター棟」が開所し、北海道大学のワイン教育研究、また北海道庁や各自治体、研究機関、生産者が協力しながら取り組む拠点として、北海道ワインアカデミーなどの講義やワインセミナー、分析実習が行われている。さらに2024年9月6日には、北海道ワイン教育研究センター内に、「北大ワインテイasting・ラボ」がオープンし、北海道産のワインが有料試飲出来るようになってきている。旧昆虫学及養蚕学教室裏手には、旧昆虫標本庫を改修したワイン熟成庫があり、テイastingをしながらのセミナーも可能だ。このワイン教育研究センター全体で、北海道のワイン産業を支援するような取組を今後も進めていきたいと考えている（図5）。

北海道のワイン産業支援のスローガンとして、「サステイナブルテロワール」という言葉を使っている。「テロワール」とは上述の様にワインを取り巻く全てのもが含まれる。北海道の各地域の「テロワール」の持続性を高めることを我々は「サステイナブルテロワール」と呼んでいる。教育研究組織の立ち上げから5年目、北海道大学のワイン教育研究はまだ始まったばかりだが、今後は研究成果を実際のワイン産業の現場や道内各地域に実装し、北海道にサステイナブルテロワールを実現したいと考えている（図6）。

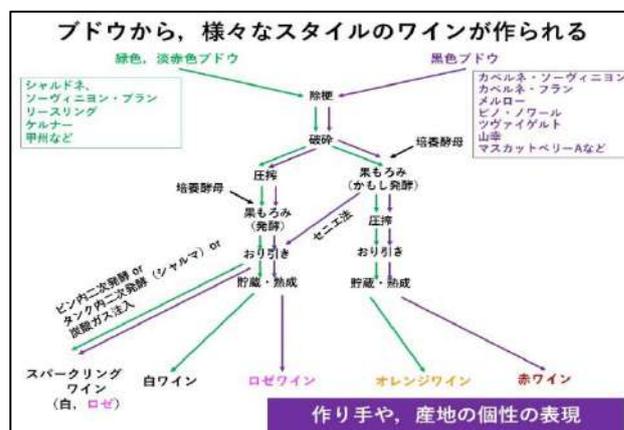


図1



図 2



図 3

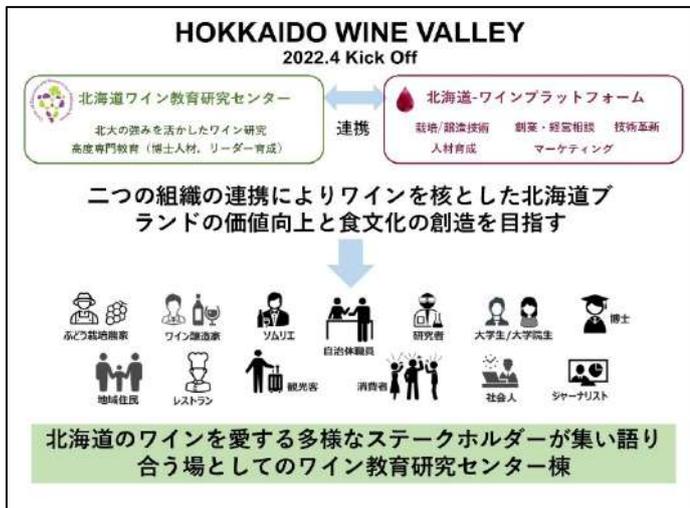


図 4



図 5



図 6



特別講演 2：人間と AI の共存で豊かな未来

北海道大学大学院教授 川村秀憲（1996（H8）工・情報工学）



はじめに

AI（人工知能）の進化は、私たちの生活や働き方を根本的に変えつつあります。その影響は、単に利便性を向上させるだけでなく、社会全体の在り方や人間の役割そのものに再定義を迫るほど大きなものです。この変化に対応し、AI の可能性を最大限に引き出すためには、私たちがその特性を理解し、積極的に取り入れることが重要です。本稿では、AI がもたらす未来像を具体例とともに考察し、人間と AI が共存し協力するためのヒントを探ります。

AI の可能性と人類の未来

1997 年、チェスの世界チャンピオンであるガルリ・カスパロフが、IBM のスーパーコンピューター「Deep Blue」に敗北しました。この出来事は、人類が機械に振り回される時代が訪れたと多くの人々に思わせました。しかし、私はこれを人類にとって大きな前進と捉えました。チェスの世界チャンピオンに挑む AI 開発者たちは、チェスでは彼に及ばない人々の集まりでした。それでも AI が勝利を収めたことは、人間の知恵とテクノロジーが力を合わせることで、戦争や地球温暖化といった、人類だけでは解決困難な課題にも取り組める可能性を示していると感じました。

この経験を通じて、私は AI 研究の道を進むことに確信を持つことができました。そして、AI がどのように人々の生活を変えるか、その未来に期待を抱えています。

ChatGPT と「最強の部下」

2022 年 11 月、OpenAI がリリースした ChatGPT は、瞬く間に世界中で注目を集め、現在では Google の Gemini や Anthropic の Claude など、さまざまな生成 AI が登場しています。特に ChatGPT は、その短期間で社会的影響を広げ、多くのビジネスツールにも導入されています。その中核技術である GPT は、「大規模ニューラルネットワーク」に基づいており、人間の脳の働きを模倣する形で設計されています。

ChatGPT の驚異的な能力は、有料版の ChatGPT-4 で顕著です。ChatGPT-4 は、アメリカの司法試験で上位 10% にランクインし、日本の医師国家試験でも合格点を達成する性能を持ちます。このような「最強の部下」を月額約 3000 円で利用できるのは、生産性向上の面で革命的なことです。

ハーバード大学の研究では、ChatGPT がコンサルティング業務に与える影響を調査し、生産性が 12% 向上し、タスクの完了が 25% 短縮、成果物の品質が 40% 向上するという結果が得られています。私自身、膨大な英語論文を効率よく読むために ChatGPT を活用しており、重要な情報を短時間で得られることで、研究の効率が大幅に向上しています。

AI 時代における人間の価値

AI 技術が進化する中、人間に求められるのは、「多様な価値観の探求」と「意思決定能力」の二つです。まず、多様な価値観の探求とは、個々人が自分の興味やスキルを深く掘り下げ、他者とは異なる独自性を発揮することです。汎用的な能力は AI が代替する可能性が高いですが、個別のニッチな能力や独創性は、AI には模倣しにくい領域です。

例えば、子供たちに AI を活用した「学びの環境」を提供することで、興味を深める機会を与えることが重要です。AI は、質問に答えたり、興味をさらに引き出したりするパートナーとして機能します。これにより、将来は数学や科学、芸術の分野で、尖った専門性を持つ人材が生まれる可能性が広がります。つまり、AI によって汎用的な能力が代替される時代には、個性や専門性が価値を持つ社会になるでしょう。

次に、意思決定能力は、人生やビジネスの重要な選択において欠かせないスキルです。AI は膨大なデータを分析し、選択肢を提示しますが、最終的な意思決定は人間が行う必要があります。例えば、住居を選ぶ際、家賃や広さ、アクセスといった数値で評価可能な要素だけでなく、デザインや周囲の環境など主観的な価値判断も含めて決断することが求められます。

良い意思決定を行うためには、問題に関する知識を深める「学び」が不可欠です。デザインの良し悪しを判断するためにはデザインを学び、数値では測れない価値を理解する力を養わなければなりません。AI が登場したからといって、学びの重要性が薄れるわけではありません。むしろ、自発的な学びが今後さらに重要になります。

AI と人類の未来

テクノロジーの進化は指数関数的に進み、汎用的な能力の多くは AI に取って代わられる可能性があります。しかし、その一方で、AI と調和しながら共存する社会を築くことが、私たちの課題です。シンギュラリティが現実のものとなる中で、AI が持つ強みを活かしつつ、人間が独自性を追求することが求められます。

日本がこの変化に適応し、グローバル競争で優位に立つためには、新しいテクノロジーを取り入れ、次世代の若者たちが多様な能力を発揮できる環境を整備することが必要です。AI の進化は、単

なる脅威ではなく、私たちが新しい価値観を育み、豊かな未来を築くための道標となるでしょう。

おわりに

AI は今後も進化を続け、私たちの生活や社会に大きな影響を与え続けるでしょう。この変化に対して、私たちが恐れるのではなく、新たな可能性を見出す姿勢が重要です。特に、AI と協力して問題を解決し、人間ならではの価値を追求する努力が必要です。

私たち一人ひとりが自らの学びを深め、AI と共存する新しい社会の実現に向けて取り組むことで、より良い未来を切り開くことができるでしょう。AI と人間が互いの強みを補完し合う社会が、真に豊かな未来をもたらすことを期待しています。

筆者自己紹介

北海道大学大学院情報科学研究院
情報理工学部門複合情報工学分野
調和系工学研究室 教授

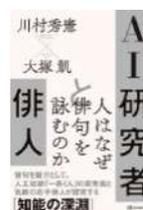
2000 年 北海道大学大学院工学研究科
博士課程期間短縮修了。博士（工学）。

2000 年 同大学助教。

2006 年 准教授を経て 2016 年教授。

人工知能の研究に興味を持ち、ニューラルネットワーク、ディープラーニング、機械学習、進化システム、マルチエージェントシステム、データマイニング、ロボティクスなどの研究に従事。企業との産学連携実績多数。人工知能に関する論文多数。

著書の一部



北海道大学関西同窓会新年会に参加して

篠原繁則（1976(S51) 工・建築）



2025年1月11日（土曜日）に北大会館において開催された新年会に初めて参加させていただきました。参加者名簿を見ると、昭和40年代、50年代卒年の方が多く、自分

と近い年代が多いと感じておりました。参加してみると、皆さんお元気で活力を感じましたし、元気をいただきました。

特に植松会長の都ぞ弥生の前口上、北大へのエールのエネルギーなど発声には感激いたしました。さすが応援団！植松会長には、東京同窓会で以前名刺交換をさせていただいておりましたが、もと応援団とは存じあげず、しかも東京同窓会で以前から顔見知りの坂倉さんとは恵迪寮で一緒とお話も聞けました。

参加者に学科の先輩の伊藤さんがいらっしゃり、大阪にも建築工学科の同窓会、六美会があるとお聞きしました。

私は、東京での北大関連では、北大東京同窓会、北大工学部東京同窓会、北大食品産業エルム会、北大情報産業エルム会、東京六美会（学科同窓会）には可能な限り参加しています。去年は中部地区同窓会に入会し、昨年の忘年会に初めて参加しました。今回、北大関西同窓会に入会いたしました。オンラインで一度講演会に参加したことはありましたが、今回の新年会が初めてのリアルでの参加でした。

私は、神奈川県横浜市に住んでおり、東京都渋谷区にある会社に勤務しております。卒業以来勤務しており、2025年4月1日で49周年、50年目に入ります。勤務先のピーエス工業株式会社は温

度と湿度の専門メーカーで、ラジエータタイプの放射暖房（温水、電気）、除湿型放射冷暖房、産業用加湿器・除湿機の生産、販売をしている会社です。私は、ここ40年ほどは東京営業所で販売、顧客開拓、市場開拓などに携わってきました。弊社は60歳が定年ですが、60歳で東京営業所長、65歳で取締役を終えて、今はシニアアドバイザーとして若手営業担当者と同行営業、私の知っている顧客の紹介などをしています。左の私の写真は自社製品の前で撮ったものです。

最近での弊社と北大との関係では2023年7月に竣工した北海道大学ワイン教育研究センターのワインセラー（旧昆虫学及養蚕学研究室）に弊社の製品を寄贈させていただきました。きっかけは、北大の西邑先生と北大東京事務所の稲富さんが来社し、エルムの森プロジェクトということでプレゼンしていただきました。弊社社長の平山禎久と私でお聞きし、その場でワインセラーに弊社製品の寄贈を決めさせていただいた次第です。

私は昭和47年入学ですが、学生運動の影響で入学式がありませんでした。大学に行っても入り口に机が山積みされ、校内に入ることができず、入学の感激もなく、あまり印象がありませんでした。当時、私の世代は三無主義（無気力、無関心、無感動）と言われていたと記憶していますが、いわゆるしらけ世代でした。

弊社は、工場が北海道北広島市、岩手県八幡平市、営業所が北海道北広島市、盛岡市、仙台市、長野市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、福岡市、熊本市にございます。会社は昨年10月で65年目に入りましたが、ずっと建築設備業界でメーカーとして活動してきたので、業界ではそれなりの知名度があると思

ます。

私の社内での課題としては、新しい市場、用途への展開をしたいと考えていて、まずはいろいろな業界の方々との交流を深めたいと思い、機会があれば積極的に新しい人と会っていきたくと思っています。北大の卒業生の70%以上が本州ということを聞いており、北大の同窓会関連には可能な限り参加したいと思っています。

弊社のお酒営業所の営業エリアが大阪以西と広いのですが、私なりにサポートしていきたくと思っています。

私は東京から西にはほとんど行ったことがなく、東京での付き合いのある方々から紹介をしてもらおうと思っていました。そういう意味では北大関西同窓会のイベントに参加させていただき、人的な広がり、さらには知見を広げていきたいと考えております。

今後ともよろしくおつきあいいただければ幸いです。

以下は北海道大学ワイン教育研究センターのワインセラーに納入した弊社の製品の紹介です。詳細は下のQRコードからでもご覧いただけます。



- 1：旧昆虫学及養蚕学教室＝ワイン教育研究センター棟
- 2：内部空間は当時の雰囲気を残しながら改修されました。
- 3：建築に溶け込む窓下の放射暖房 PS HR ヒーター。
- 4：旧標本室＝熟成ワイン庫。壁際に配置された PS カンティナーは、PS HR-C という除湿型放射冷房で構成されます。連続運転することで躯体も涼しさを蓄え、洞窟のように安定した熟成空間を作り出します。
- 5：PS カンティナーでワインが熟成している様子。



北海道大学合唱団OB会第12回演奏会

室田信男 (1962 (S37) 工・機械)



2024年9月22日(日)札幌市のカナモトホール(札幌市民ホール)にて、北海道大学合唱団OB会の第12回演奏会が開催されました。この演奏会は原則4年ごとに開催されるもので、1976年の第1回演奏会開催後、今回第12回目を迎えました。全国に推定1600名以上いるOB団員の内、132名の団員が出演しました。今回出演した最高齢者は昭和33年卒業の団員で90歳でした。演奏会の最後には、現役の合唱団員36名も加わり総勢168名が、舞台から溢れんばかりの状態であncore曲を歌い上げました。

北海道大学合唱団は1915(大正4)年2

月11日、学内の図書館において開催された第1回演奏会を創立起源としており、本年は創立110年を迎えたこととなります。この音楽会のプログラムを見ると、全体の半分を合唱が占め、その他にマンドリン合奏、ピアノ演奏、男声カルテット演奏などで構成されていますが、合唱曲は当時予科の英語教師だったポール・ローランドの指導による演奏で、午後1時に始まり3時半に閉会するまで約350名が列席し大変盛況だったようです(「北海道大学合唱団百年のあゆみ」より)。

今回の私たちの演奏会のプログラムは次ページに示すとおりですが、ここでは特に第2ステージの「北のうたびとたち」(北海道出身アーティストの作品を集めて)について述べてみます。



リハーサル時全員記念写真

第1曲中島みゆき作詞・作曲の「地上の星」と、第5曲同じく中島みゆき作詞・作曲の「麦の唄」は、NHKの放送番組「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」と連続テレビ小説「マッサン」の主題歌として使われたので皆さんもよくご存じのことでしょう。

中島みゆきの出身地は札幌ですが、卒業高校は帯広柏葉高校で、3年生の時の文化祭で初めてステージに立って歌ったそうです。昭和45年に藤女子大学文学部国文科に入学後音楽活動を続け、北海道大学フォークソングのメンバーとも交流をもって活発

に音楽活動を展開していき、「コンテスト荒らし」の異名を得たそうです。同窓生のみなさんの中にも交流のあった人がいたのではないのでしょうか。彼女がすばらしいのは、単なるシンガーソングライターではなく、自ら内容の深い詩を作りそれに曲をつけて多数の名曲を生み出してきたことで、音楽家と言ってよいと思います。2009年11月3日には紫綬褒章を受章しています。「時代」、「糸」、「ファイト!」、「悪女」、「世情」、「わかれうた」など、皆さんのお好きな曲が沢山あると思います。

第2曲目は、作詞阿久悠・作曲森田公一の「青春時代」です。皆さんもカラオケなどで歌ったことがあると思います。

作曲者の森田公一は留萌市の出身です。実は私は森田公一と同学年で、同じ小学、中学、高校と過ごしました。彼はいわゆる良家の出身で、昭和20年代の未だ物資が十分でない時代にもいつもきれいな子供服を着ていました。学業やスポーツは普通の少年といったところでした。お母さまが自宅の立派な洋風の離れの間で、グランドピアノを弾いていたのは有名でした。高校生になると、彼は吹奏楽部に入ってトランペットを吹いていました。私は合唱部に属しており同じ音楽室を譲りあって使うので、よく顔を合わせました。この吹奏楽部には専任の指導教師はおらず、毎年上級生を中心に自主的に活動を続けておりました。3年生になると森田公一が中心になって活動しており、ブラスバンド曲他を自主的に指導・演奏していくうちに将来の音楽へ向けての情熱と可能性を育てていったのではないのでしょうか。高校卒業後1年間会社勤めをしますが、日大芸術学部音楽科に入り直し作曲法などを学んだ後中退し、天地真理、アグネス・チャン、桜田淳子ほか多数の歌手に曲を提供しながら、1969年に「森田公一とトップギャラン」を結成し、1976年から1977年にかけて「青春時代」が大ヒット、一躍ミリオンセラーとなったのでした。

第3曲目は作詞松井五郎・作曲玉置浩二の「あの頃へ」です。

雪が降る 遠いふるさと
なつかしい 涙になれ
春を待つ 想いは誰を
幸せに できるだろう

という歌詞がいいですね。曲もバラード調で聞く人の心をしっかりとさせてくれます。

北海道大学合唱団 OB 会 第12回演奏会

カナモトホール 令和6年(2024年) 9月22日 日曜日
開場 14:30 開演 15:00

プログラム

1. 男声合唱組曲「わかれうた」
作詞：阿久悠 作曲：森田公一
指揮：山崎博樹

2. 男声合唱組曲「北のうたびとたち」
北海道出身アーティストの作品を集めて
編曲：徳田信也
指揮：山崎博樹

3. 現代賛美詩「さ」
作詞：山崎博樹 作曲：山崎博樹
指揮：山崎博樹

4. 男声合唱組曲「方舟」
作詞：山崎博樹 作曲：山崎博樹
指揮：山崎博樹

演奏会のプログラム

玉置浩二は旭川の出身で、祖母が民謡教室で講師をしており本人も2歳から民謡を歌っていたそうです。中学2年生のときに武沢豊と同級生になり、2人でロックバンド「安全地帯」を結成し、高校に入学するも直ぐに退学して廃屋をスタジオに改造して安全地帯のメンバーと共同生活をはじめたそうです。その後縁あって井上陽水のバックバンドとして上京し、全国ツアーに帯同後、1982年に「萌黄色のスナップ」でメジャーデビューを果たしたのでした。

第4曲目は作詞・作曲松山千春の「季節の中で」です。

松山千春は足寄町の出身で、フォークソングとの出会いは小学6年生の時に、足寄で岡林信康のコンサートを聴きに行き感動し、その後高校の文化祭で岡林信康の「私たちの望むものは」を熱唱したそうです。足寄高校卒業時は首席になるなど成績はよかったのですが、家が貧しく大学進学をあきらめ、北見の叔父の小料理屋や農協ビルの地下食堂手伝いなどをしながら、合間を見て作詞・作曲もやっていたそうです。そして全国フォーク音楽祭北海道コンクールに進出するも落選。しかしSTVラジオの竹田健二に才能を認められ、ラジオのサテライトスタジオからの公開ワイド番組「サンデージャンボスペシャル」をスタートにし、次第に力をつけていって正式にプロデビューを果たすのでした。松山千春は北海道を愛し、現在も札幌に住んで活動を続けていますが、残念ながら持病の狭心症が悪化し、2024年8月に同年秋以降の活動を

中止しました。

以上北海道出身のシンガーソングライターたちが、あるときは笑い、あるときは辛苦に涙し、必死に努力を重ねて才能を開花していった、彼女・彼らの「青春時代」の一端を紹介しました。

引用文献

1. 『北海道大学合唱団 百年のあゆみ』発行 北大合唱団、北大合唱団OB会、2016.6.1
2. 中島みゆき、森田公一、玉置浩二、松山千春の各インターネットWikipedia

地球温暖化というグローバルな課題に対しローカルの一行政職員として取り組んできたこと

津田久美子（2003（H15）農・応生）

「疑う余地がない」人間活動の影響による地球温暖化

気象庁の発表によれば、2024年夏（6～8月）気温は、1946年の統計開始以降、夏として西日本と沖縄・奄美では1位、東日本では1位タイの高温となりました。また、日本の平均気温の基準値からの偏差は $+1.76^{\circ}\text{C}$ で、統計を開始した1898年以降の夏として、2023年の記録と並び、1位タイであり「これも地球温暖化の影響ではないか？」と感じられた方も多いのではないかと思います。

科学者の間では、地球温暖化、すなわち二酸化炭素、メタンやフロンなどの温室効果ガス（Greenhouse Gas: GHG）の大気濃度が上昇することで地球の温度が上昇する現象は、はやくも1970年代から注目されていました。その原因については長年議論されてきましたが、2021年8月、国連は気候変動に関する政府間パネル（Intergovernmental Panel on Climate Change: IPCC）の報告書「第6次評価報告書第1作業部会報告書（自然科学的根拠）」（以下、AR6）の中で、地球温暖化の原因について「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。大気、海洋、雪氷圏及び生物圏において、広範囲かつ急速な変化が現れている」と踏み込み、「今後数十年の間に二酸化炭素及びその他の温室効果ガスの排出が大幅に減少しない限り、21世紀中に、地球温暖化は 1.5°C 及び 2°C を超える」との警告を発しま

した。AR6では人間活動の影響で地球が温暖化していることについては「疑う余地がない」と結論されましたが、これは、2001年のAR3で「人間活動が主な原因である可能性が高い（66%以上）」、2007年のAR4で「可能性が非常に高い（90%以上）」、2014年のAR5で「可能性が極めて高い（95%以上）」と評価されていた流れから、初めて不確かさの表現が外れて、断言されたこととなります（図1）。

では、IPCCはどのようにして地球温暖化が人間の影響だと判断したのでしょうか。それは、1850年以降に実際に観測された世界平均気温の変化を見たとき、火山噴火などの自然要因だけでは説明できない気温の変化（断続的な気温の上昇）が、人間活動による温室効果ガス増加の効果を入れた気候モデルのシミュレーションで再現できたことによります。

気候モデルとは、物理の法則に基づく計算により、地球の気候をシミュレーションするものです。2021年には、米プリンストン大学上席研究員の真鍋淑郎博士が気候を物理的にモデル化し、地球温暖化を高い信頼性で予測できるようにした業績に対してノーベル物理学賞に選ばれたことは記憶に新しいと思います。IPCCのレポートにも気候モデルが活用されており、現在も、様々な気候モデルの研究が行われています。

現在、今以上に地球温暖化が悪化するのを抑えるべく、世界の平均気温の上昇を産業革命前と比較して 2°C より十分に低く、 1.5°C に抑えることを目標とする「 1.5°C 目

標」に向け、世界各国が温暖化の主原因とされるGHGの排出を削減しようと取り組んでいます。この目標は、2015年12月にパリで開催された第21回国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）で採択され、翌2016年に発効された気候変動問題に関する国際的な枠組みである「パリ協定」に示されています。

気候モデルの研究などからは、温暖化が進むと猛暑や大雨などの極端な気象現象が頻発し、深刻な気象災害がより頻繁に生じると予測されています。例えばIPCCはAR6で、平均気温の上昇が1.5°Cになると、50年に1度という極端な高温は8.6倍に、10年に1度という大雨の頻度は1.5倍になるとしています。実際、近年の豪雨災害などの報道で「10年に一度のレベル」といった表現をよく耳にしていると思います。この影響をなんとか低く抑えるためには、気温上昇を1.5°Cに留める必要があるということで、1.5°C目標に向けた対策の緊急性が呼びかけられているのです。しかし、この目標を実現するには、世界のGHG排出量を2030年までに2010年比で45%削減、2050年には実質ゼロにする必要があるとされており、簡単ではありません。1.5°C目標に向け、世界が一致してめざせるかどうか大きな焦点となっています（図2）。

地方自治体の地球温暖化対策—草津市気候非常事態（ゼロカーボンシティ）宣言

草津市は、滋賀県南部に位置し、古くは宿場町として、また、現在では京阪神のベッドタウンとして人口増加が続く活気溢れるまちです。私は、草津市で生まれましたが、大学入学で離れたことを機に、逆に将来は地元で働きたいという思いが募り、縁あって草津市に就職し、現在に至っています。

草津市が地球温暖化対策に本格的に取り組むようになったきっかけは、2005年2月に発効された京都議定書でした。京都議定書目標達成計画の中の、市町村に期待する事項として「啓発を重点に地域の実情に応じた取組をすること」が掲げられたのです。

そして、2007年は、草津市にとって、地球温暖化対策の大きな転換点となりました。地球の危機的な状況を知り、理解し、行動

を促すため、「地球温暖化防止フェア in びわこ・くさつ」という大規模なイベントを、烏丸半島で開催しました。子どもたちが、「南極の氷」を触ったり、昭和基地の隊員とテレビ電話による交信をしたりすることを通して、危機的な地球温暖化の現状を知る機会となりました。

また、このフェアと並行してすすめたのが、「愛する地球のために約束する草津市条例」の制定でした。この条例の特徴は、制定した時点で、今日の世界の目標であるSDGsにつながる、持続可能な共生の重要性について前文で触れていること、未来を担う子どもたちにも語りかけるため、ルビをふったことや、市民、事業者、団体、市役所の役割を明確にしたことがあげられます。



この条例を基盤として、草津市では、市民や事業者のみなさんと一緒に、自主的な取組を進めることで草の根的に地球温暖化対策市民運動が地域に広がることをめざしてきました。「草津市地球冷やしたい」ロゴマークは、その象徴の一つです。また、2009年には、地域ぐるみで地球温暖化対策を実践する組織として「草津市地球冷やしたい推進協議会」（地球温暖化対策の推進に関する法律（以下、法）第40条地球温暖化対策地域協議会）が設立されました。さらに、市民運動を構築するための具体的な計画として、「草津市地球冷やしたいプロジェクト」（法第21条地球温暖化対策地方公共団体実行計画）を策定し、地球温暖化対策に関する協定を市と事業者・団体が締結し取組を進める事業や、表彰事業、ゴーヤカーテンの普及啓発事業、環境学習の推進などを行ってきました。計画は概ね4年ごとに見直し、2025年度から第5次プロジェクトを開始する予定です。

そして、2021年、草津市は、新たな一歩を踏み出しました。それが、「草津市気候非常事態（ゼロカーボンシティ）宣言」です。「気候非常事態宣言」とは、気候変動（地球温暖化）による影響が顕在化しているという危機的な状況への認識を示し、自治体としてできることを進めつつ、住民などへ行動変容を呼びかけるために行われる

宣言です。また、「ゼロカーボンシティ」とは、2050年に二酸化炭素を実質ゼロにすることをめざすことを表明した地方自治体です。草津市は全国で507番目にゼロカーボンシティを表明しましたが、現在（2024年12月27日現在）では、全国で1127自治体が表明しています（図3、図4）。

また、市議会との共同宣言は、当時、西日本初でした。この宣言に基づき、草津市では二酸化炭素を実質ゼロにするという非常に高い目標に向かって、地方自治体としても取組を進めていくこととなりました。そこで、第5次プロジェクトでは、これまで構築していた地球温暖化対策市民運動を大切にしながら、二酸化炭素排出量がゼロとなる再生可能エネルギー（太陽光発電など）を積極的に導入していくことなどが盛り込まれる方向です。

宣言は、脱炭素社会づくりに向けた通過点に過ぎません。未来は、私たち一人ひとりのこれからの自発的な行動に委ねられています。

おわりに

本稿では、現在の地球温暖化の知見と一地方自治体の取組を紹介させていただきました。地方行政における地球温暖化対策の具体的事例は、また別の機会があればお話しさせていただければと思います。

私自身、元々地球温暖化の専門家ではなく、現在の部署に配属された際は非常に戸惑いました。しかしながら、一から勉強しながら仕事に取り組むなかで、これまで培ってきた専門知識が、地球温暖化対策行政にも活かせる部分を見出しつつあります。

例えば、土壌にバイオ炭を施用するなどのカーボンファームは、大気中からの炭素（CO₂）除去に繋がることから、農家に対し適切なインセンティブを準備し、このような農法を推奨することで、有効な地球温暖化対策になり得る可能性があります。

とはいえ、研究と社会実装との間には深い溝があることも事実です。私は、この溝を少しでも埋める働きで市民に奉仕できるよう、これからも努力していきたいと思えます。

筆者自己紹介



北海道大学農学部応用生命科学学科（生態化学講座）卒業後、独立行政法人農業環境技術研究所（現農研機構）を経て、神戸大学大学院自然科学研究科博士課程終了。博士（農学）。

平成21年より草津市に化学環境職として採用され奉職。現在は草津市環境経済部温暖化対策室係長。

現在の仕事以外の活動として、琵琶湖有機物勉強会主宰（県庁・民間企業の有志で、琵琶湖をはじめとする湖沼・河川の水質基準や溶存有機物等に関する情報交換や論文発表）、滋賀県立琵琶湖博物館「たんさいのぼうの会」会長（主に珪藻の調査・研究・普及啓発活動）、元菜の花プロジェクトネットワーク会員（東日本震災後の復興支援ボランティア活動）など。

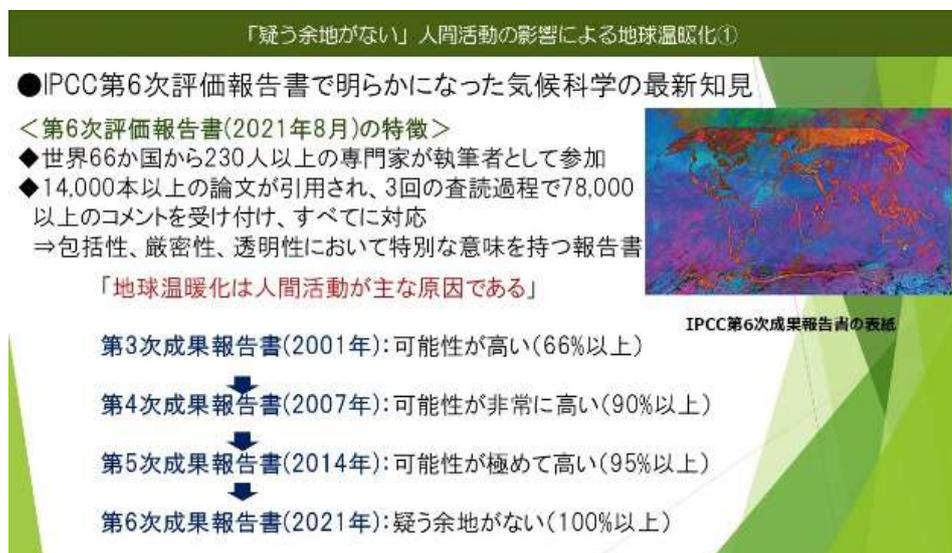


図1

「疑う余地がない」人間活動の影響による地球温暖化②

●地球温暖化の原因は人為的なのか？

火山噴火などの自然要因だけでは説明できない気温の変化（断続的な気温の上昇）が、人間活動による温室効果ガス増加の効果を入れた**気候モデルのシミュレーション**で再現できた。

真鍋淑郎博士（プリンストン大学）
2021年ノーベル賞受賞

出典：IPCC 1.5°C特別報告書②

FAQ 3.1: How do we know humans are causing climate change?

Observed warming (1850-2019) is only explained by processes including human influence.

気候システムへの人為的影響
出典：IPCC AR6, Chapter 3: Human Influence on the Climate System 「AQ 3.1 How Do We Know Humans Are Responsible for Climate Change?」

●1.5°C目標

<1.5°C特別報告書(2018)>

既に世界の平均気温は産業革命前と比較して約1.0°C上昇しており、このままだと早ければ2030年に1.5°Cの上昇に達し、2050年には4.0°C程度に上昇すると予測。

→2015年パリ協定では、2050年に1.5°Cまでの上昇に食い止め、影響を最小限にする目標を立てた。

図2

地方自治体の地球温暖化対策—草津市気候非常事態（ゼロカーボンシティ）宣言①

2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明 自治体 2024年12月27日時点

東京都・京都市・横浜市を始めとする**1127自治体**（46都道府県、624市、22特別区、377町、58村）が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明。

自治体数増加の傾向

年	自治体数
1999年	4
2010年	166
2024年12月27日時点	1127

表明市町村数（1081自治体）

市民との意識共有

【気候非常事態宣言とは】
気候変動（地球温暖化）による影響が顕在化しているという危機的な状況への認識を示し、自治体としてできることを進めつつ、住民などへ行動変容を呼びかけるために行われる宣言

【ゼロカーボンシティとは】
2050年にCO₂（二酸化炭素）を実質ゼロにすることをめざすことを表明した地方自治体（環境省）

草津市の宣言時の状況

- 2021（令和3）年12月17日に宣言。
- ゼロカーボンシティ表明は、全国では507番目、県内では、滋賀県・湖南市・近江八幡市に次いで4番目。
- 市長と議長の共同宣言は西日本初。

図3

地方自治体の地球温暖化対策—草津市気候非常事態（ゼロカーボンシティ）宣言②

草津市気候非常事態宣言

2050カーボンニュートラルへの決意

気候非常事態宣言＋ゼロカーボンシティ表明

近年、世界各地で、地球温暖化の影響による異常気象が相次いでいます。2015年に採択された「パリ協定」では、産業革命前からの気温上昇を、2°C未満とすることを目指し、1.5°Cまでに抑える努力を続けていくとしています。日本は、この目標を踏まえ、2020年10月に、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル」を目標に掲げました。

草津市には、市民、事業者、団体等と市役所の協働により、地域の地球温暖化対策を進めてきた歴史があります。2007年には、「愛する地球のために約束する草津市条例」を制定して、みなさんと市長が地球のために約束する協定を結ぶことで、協力し合って地球温暖化を防ぐとともに、その後、気候変動に適應するための仕組みを作りました。また、2009年には、私たちがそれぞれの枠を超えた協力体制のもと、地域ぐるみで地球温暖化対策を進めるための組織として、「草津市地球冷やしたい推進協議会」を設立して、様々な取組を行ってきました。

気候変動による危機が迫るなか、今一度、私たち一人ひとりが脱炭素社会づくりに向けて自らの役割を確認し、より積極的な行動に移す時が来ています。そこで、草津市は、SDGsの理念を踏まえ、それぞれの役割の中で取組をさらに進めるとともに、共に協力し合うことで、2050年カーボンニュートラルの実現を目指して、ここに草津市気候非常事態を宣言します。

令和3(2021)年12月17日
草津市長 橋川 渉 草津市議会議長 伊吹 達郎

市長と議長の共同宣言

気候危機に対する現状認識

草津市の地球温暖化対策の歴史

取組を進めることへの決意

図4

ちょっと珍しいOB会「教養理類同級会」

高柳枝直（1968(S43)工・衛）



はじめに

いろいろなOB会があるが、北大の教養理類時代の同級生によるOB会は珍しいであろう。昭和39年当時の北大は理類、文類、水産、医進の4分類で入学試験が行われていた。理類は

千数百人が一括して合格し、1年半後に農学部、理学部、工学部、薬学部、獣医学部の5学部の各学科に分かれ学部移行をした。教養時代は通過点であり、一般的には学部移行後の付き合いは消滅する。

「教養理類同級会」の構成員は86歳から79歳の8人である。昭和39年6月の「大学祭」でグループができてから60年余りが経過しているが全員健在である。8人の出身地は北海道、新潟、東京、愛知、大阪、山口、熊本と全国に散らばる。農学部、工学部、理学部の7学科に分かれて卒業し、現在の居住地は北海道2人、青森1人、関東2人、関西3人である。



第3回 青森県舘温泉8人全員(平成16年10月)

「教養理類同級会」8人のグループ

この会のメンバーは昭和39年に入学した理類8組の同級生である。8組は60名余で男性だけのクラスだった。入学し

て間もなく開催された大学祭で北大の騒音、塵埃など環境実態の調査をし、発表したグループである。グループの形成の経緯がちょっと変わっている。大学祭で何をやるかクラスで話し合い、喫茶の模擬店やエレキバンドなどの演奏会が早々に決まった。それに馴染まない残ったメンバーが8人だった。何をするか話し合っただけで決まったのが「北大の環境調査」だった。当時の北大構内の道路は未舗装が多く、観光バスが走ると土ぼこりが舞い上がる状況であった。トラックも走っていた。教養の講義をされていた医学部公衆衛生学教室助教授の加藤先生に相談し、工学部衛生工学科谷沢助教授から騒音計等の測定機器をお借りして大学構内、教室内の環境測定等をし、模造紙に調査結果をマジックで書いて発表すると記憶している。

その後、加藤先生から昭和39年9月にクラーク会館で開催の「第21回日本公衆衛生学会」の手伝いをしてほしいとの依頼があり、アルバイトとして協力した。



第16回日本体育学会

学会終了後に安倍三史医学部長が参加し盛大に開催された懇親会に参加させてもらい、大いに楽しんだ。昭和40年8月には再び加藤先生から依頼があり、北大体育館で開催の「第16回

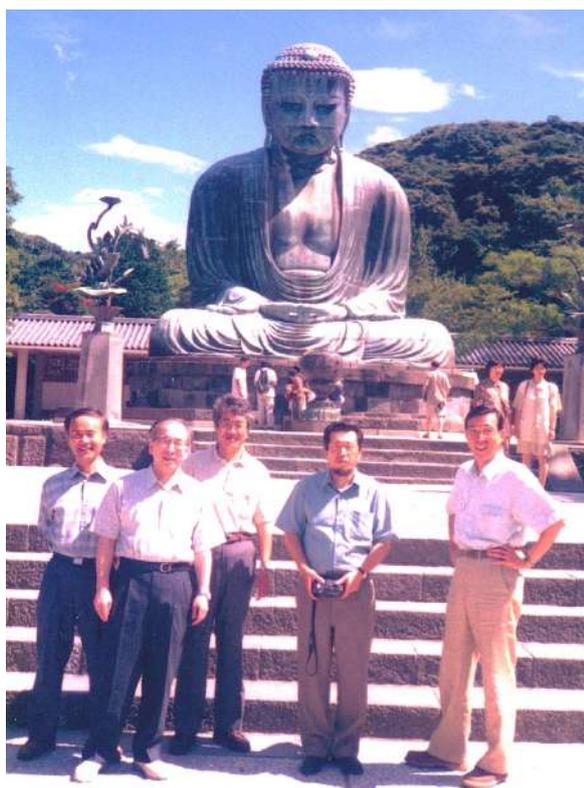
日本体育学会」の手伝いをした。

その他にも、同級生の要望で大学受験浪人生の家庭教師をこのグループの有志

で分担したことや札幌から小樽まで夜通し歩いたこと、9月初旬には誰もいない銭函海水浴場で泳いだことなど、教養の2年間は友と楽しく青春を謳歌したことが記憶に残っている。

「教養理類同級会」の開催経緯

学部に移行してからはグループの付き合いはなくなり30年余りが過ぎる。この間、一部の者については南極越冬隊や海外技術協力などの新聞記事で名前が出て所在を知った場合もあった。この会が具体的に動き出したのは、関西在住の2人が大阪市本町のビルの1階エレベーター前で偶然に出会ったことに始まる。卒業以来31年振りの再会で懐かしい思い出話になり、教養の大学祭参加グループが今どうしているか、出来ればどこかで集まろうということになり、第1回目の鎌倉旅行が決定した。



第1回 鎌倉 参加者も若い(平成11年5月)

「教養理類同級会」の開催状況

同級会は平成11年から令和6年までの25年間に11回開催しており平均して2~3年に1回の開催である。会合の最後に次の開催幹事を決め、詳細はメールで意見交換しながら決めている。行き先

は北海道、東北、中部、関西などで企画内容は幹事が工夫を凝らしている。飛鳥・奈良の古都、奥入瀬、酸ガ湯、八幡平、有島武郎記念館、御岳山、高野山、熊野三山、岩村城、苗木城、馬籠、妻籠などなどである。

11回開催のうち、関西在住の3人は毎回参加であるが8人全員が参加できたのは第3回目のみである。全体の参加率は現在8割を超えているが、今年で参加者全員が80歳以上となるので、今後参加率は減少していくであろう。

激務の現役時代には宿泊旅行を土日に設定し、日常から解放された時間にゆっくりと昔の仲間と歓談することは仕事のストレス開放に役立った。メンバーの多くが定年を迎えた第6回御嶽山周辺(平成24年10月)頃からは平日にゆったりと旅程を設定できるようになった。加齢とともにOB会参加が楽しみの一つになる傾向が強まるように感じている。

次回は今年の秋に青森県八戸市で第12回目を開催予定であり、元八戸工業大学教授が幹事である。これまでは幹事の居住地を出発地点にして車での移動が主だったが会員が運転する車での移動は第9回が最後になっている。八戸市周辺は公共交通機関による移動が不便なので車の利用を話し合ったが、高齢での車運転には否定的な結論になったので幹事の工夫が楽しみである。

おわりに

最近「教養理類同級会」の際に「今回を最後にしようか」という声上がるが「可能な範囲で続けよう」の声が今のところ勝っている。一方、新たな企画として、ボケ防止の為も兼ねて、「教養理類同級会記録集」の作成を開始した。11回に及ぶ会合で撮影した写真整理が主目的であるが、学生時代の思い出も収録しようとか、書いてみたいことを何でもよいから執筆し収録してみようとか、多様な意見を包括しながら、半ぼけ老人の知的活動を持続しようとしている。作成過程を楽しみながらノンビリと時間をかけて進めつつある。



第 2 回 北大ポプラ並木 (平成 14 年 7 月)



第 2 回 有珠山西山火口第 2 展望台 (平成 14 年 7 月)



第 4 回 石舞台古墳 (平成 18 年 10 月)



第 7 回 高野山恵光院 (平成 26 年 10 月)



第 9 回 浜松市龍潭寺 (平成 30 年 11 月)



北海道は私の青春の場所

中山 淳 (1999 (H11) 理・数)



京都生まれ京都育ち。現在、中学校の数学の教員をしています。理学部数学科に通い、平成11年(1999年)に卒業しました。

大学時代、特に印象に残っていることは、1997年から1998年の頃のこと。

学科で吉田先生にお世話になっておりました。先生の専門は代数でした。私ともう一人の学生の二人だけの講座でした。「高校生にうまく伝わる複素数」というのをテーマにして、週に一回ずつ準備をしてきた箇所を講義(授業)していました。ある時、二人ともうっかり準備を忘れた時がありました。吉田先生に、私が「先生の趣味のお話しをしてください」と恐れ多くも言いました。先生は、快く「いいよ」と。先生の凝っておられるお話しをしていただきました。それは、言語間の距離を「数値」で表すというものでした。例えば、日本語とハングルであれば、「猫」という単語なら、「ねこ」と「コヒャンイ」です。共通点がないのでこの場合は「0」です。「図書館」という単語であるなら、「としょかん」と「トソガン」。これは類似点が多いので、だいたい1に近い数値だそうです。他のことはほぼ覚えていませんが、先生の「このお話し」はなぜか20年以上も経つのにリアルに覚えています。

また数学科の建物は、ポプラ並木に一番近く、よく初夏の時期に屋上に上がり、昼寝をしたり、ポプラ並木と観光客を眺めていました。

休みの時に印象に残っているのは、プロ野球観戦と旅行です。まだ円山球場があり、オリックスの試合があるたびに、イ

チロー見たさに、自転車で球場まで行って、華麗なプレイに見とれていました。またバイトで貯めたお金で、道内を巡って行きました。よく行っていたのは富良野の麓郷。そこはTVドラマ「北の国から」のロケ地でした。このドラマの好きな旅人が一つだけある宿に日本中から集まってきた、夜中じゅう語り明かしました。当時、泊まり客同士で乗り合わせて、夕食後に十勝岳麓の吹上温泉にも行くのが定番でした。この温泉は、ドラマの中でも田中邦衛と宮沢りえが入った温泉として有名でした。今では考えられないですが、この温泉は着替える場所もない、しかも混浴の露天でした。女性も男性もその場で着替えて、一緒に入っていました。わずか20年前の話です。のんびりとおおらかな時代でした。

今、ウクレレを弾くのが私の趣味ですが、「北の国から」のテーマ曲を弾くと、郷愁に浸れます。京都の人には理解し難いですが、これこそが私の「青春」だったんですね。大学時代に始めたギターが、今のウクレレでの弾き語りに繋がっています。中学生たちの前で、華麗に(?)弾かせていただいています。今後も宜しくお願ひします!



—遙かなる古代への旅—「みんなで学ぶ古代史の会」がスタート！

三津正人 (1970(S45) 農・農工)

昨年11月、北大関西同窓会に「みんなで学ぶ古代史の会」がスタートしました。「古代史は謎解きと発見の世界。」

かつてシュリーマンがトロイの遺跡にたどり着いた時、ハワード・カーターがついにツタンカーメンの墓を発見した時、その感動と興奮は如何ばかりのものであったでしょう。このような偉大な発見でなくとも、考古学とそれを繋ぐ古代史の探究は夢とロマンにあふれた未知の世界に我々を導きます。ありがたいことに近年の科学の進歩により誰でも最新の情報を入手することが出来るようになりました。

誰でも古代史の謎に挑戦することが出来るのです。古代史の世界もまた新たな仮説が次々と出現し、大きく変わろうとしています。これまでの常識は常識ではなくなるのです。今こそ古代史を何物にもとらわれない自由な精神をもって「学ぶ」時です。古代のロマンは皆さんを待っています。

人生の限られた時間を豊かに過ごすために、みんなで学ぶ会に参加しましょう。

本会は会員制ではありません。自由に学び、自由に過ごす会です。遠慮なく御参加ください。



聞き入る参加者



講演する筆者 (中央奥)

【これまでのテーマとその内容】

◆第1回「飛鳥 その真実を探る」

(開催期日 2024.11.13)

シルクロードの終着駅として栄えた都、飛鳥。そして数々の謎に包まれた飛鳥。その中から「聖徳太子とペルシャ」をテーマに取り上げ、聖徳太子の母穴穂部間人皇后がペルシャから来たことを示す3つの根拠（弥勒菩薩信仰、正倉院のペルシャの宝物、ペルシャ王の印である「日月紋」）について学び、その真実に迫った。



飛鳥の石舞台

◆第2回「神武天皇の実像に迫る」

(開催期日 2024.12.21)

神武天皇は実在したかの問いに答え、神武一族が海の道を通って南から来た事の根拠を学ぶ。桜井茶臼山古墳は橿原考古学研究所の発表内容並びに、日向との繋りから見て、神武天皇(カムヤマトイワレヒコ)の真陵とみられることを学ぶ。前方後円墳は日向に残る古墳から見て神武一族の墓制であることの検討を行った。神武の東遷は260年頃であり、邪馬台国はその直後にヤマトに集団移動したことについて学ぶ。



橿原神宮

◆第3回「伽羅と新羅～その真実」

(開催期日 2025.1.25)

伽耶は伽羅と呼ぶことが正しい事を学ぶ。新羅は伽羅が作った国であり、その建国は382年であることの根拠について学ぶ。



伽羅出土短甲

伽羅はその建国伝説等から海の道を通ってきたこと、伽羅はカーラと発音し、トカラからきている事、彼らは月氏の末裔である事を学ぶ。伽羅の王の遺伝子は日本の縄文人と同じD1a2aであり、彼らは縄文人と同じアルタイ山脈付近を故地とすることを知る。

◆第4回「氣長足姫と応神天皇の登場」

(開催期日 2025.2.22)

氣長足姫(おきながたらしひめ・神功皇后・息長足姫とも)と応神天皇が何故登場したのか、その背景となる東アジアの情勢を学ぶ。さらに応神の登場を意味する七支刀の銘文の新たな解釈に取り組んだ。広開土王碑文から応神と広開土王の戦いについて知る。氣長足姫と応神天皇の登場は日本古代史を劇的に変換し、今日も続く八幡神信仰の原点となった。

主な内容

- ①百済の誕生と卑弥呼の朝貢
- ②ヤマトと百済の連携
- ③応神の登場と戦い(大阪平野に残る痕跡)
- ④七支刀の意味
- ⑤広開土王碑文が示すもの
- ⑥宇佐神宮と住吉大社の役割
- ⑦こうして応神は八幡神となった



宇佐八幡宮の南桜門

北海道大学関西同窓会

顧問 米田昌弘
(昭30 工・機)

〒651・1132 神戸市北区南五葉五十九二四
FT AE XL (〇七八) 五九一・六四一〇

北海道大学校友会エルム

北海道大学校友会エルムは同窓生のみなさまのご登録を
お待ちしております。

 会員登録は校友会 Web サイトで行うことができます。

詳細は校友会 Web サイトをご覧ください
<http://www.alumni-hokudai.jp/>



 (お問い合わせ・校友会エルム事務局)
TEL : 011-706-2101
E-mail : kouyukai@general.hokudai.ac.jp
営業時間：月～金 8:30～17:00

北海道大学関西同窓会

顧問 濱本富美雄
(昭32 工・土木)

〒659・0031 芦屋市新浜町二一五一一〇三
FT AE XL (〇七九七) 三二一〇一四九



北水同窓会大阪府支部
北海道大学関西同窓会

顧問 大野正浩
(昭36 水・製)

〒661・0035 尼崎市武庫之荘三七七一七
FT AE XL (〇六) 六四三六・四三八〇
携帯 (〇九〇) 五〇四五・〇五六八

くさか基金代表
(二社) 北海道大学関西同窓会館理事

日下大器
(昭37 農・生)

〒663・8113 西宮市甲子園口二七七・五十四〇六
TEL (〇九〇) 九〇九七・二二五一

北水同窓会大阪府支部

顧問 徳永徹
(昭37 水・製)

〒534・0027 大阪市都島区中野町五一一四
桜宮リバーシテイNAC 二二二〇六
携帯 (〇八〇) 二四四三・六五〇五

(二社) 北海道大学関西同窓会館理事
間中技術士事務所代表
北海道大学関西同窓会

相談役 間中俊夫
(昭37 工・機)

〒658・0065 神戸市東灘区御影山手三一九一〇〇
TEL (〇七八) 八五一・四八三二
e-mail : kmanaka@dic.oriconet.jp

北海道大学関西同窓会

副会長 山田正幸
(昭37 薬)

〒666・0112 川西市大和町二二一・一六
TEL (〇七二) 七九四・一六四〇

(二社) 札幌農学校同窓会関西支部
京大名誉教授

顧問 天知輝夫
(昭38 農・農化)

〒520・0022 大津市柳が崎九番一・一三二一三
FT AE XL (〇七七) 五七二・六五八八

Be ambitious を読もう!

北海道大学同窓生の多岐にわたる活動が読めます。
会員の方には無料で配布します。
会員になって下さい。

会長 植松高志
北海道大学関西同窓会

(一社)札幌農学同窓会関西支部

農学部同窓生の集い!!!

〒530-0001
 大阪市北区梅田1-2-2-200号
 大阪駅前第二ビル2階北大大会館内
 理事長 **山田勝重**
 (昭53 農・農化)
 TEL(06)6343-3736

(一社)札幌農学同窓会関西支部

顧問 **和田武夫**
 (昭40 農・農化)

〒569-1024 高槻市寺谷町二四一八
 TEL(071)六八九一六五八
 e-mail: wadatakoo@qps.plala.or.jp

石原産業株式会社

社友 **織田健造**
 (昭41 理・地産)

〒665-0845 宝塚市柴町一丁目六一二(〇七)
 TEL(〇七九七)七五九九八二七
 e-mail: kenz3914@yca-so-net.ne.jp

名誉顧問 **手島肇**
 (昭42 工・衛)

株タクマ

<http://www.takuma.co.jp>

(一社)北海道大学関西同窓会館代表理事
 西日本恵迪寮同窓会 相談役
 北海道大学関西同窓会

副会長 **伊藤靖久**
 (昭42 工・建)

〒665-0886 宝塚市山手台西二一九一四
 FAX(〇七九七)八九一四三三二
 e-mail: yasuhisa_ito@infy.com

新コスモス電機株式会社

相談役 **重盛徹志**
 (昭43 理・修・物)

<http://www.new-cosmos.co.jp>

特定非営利活動法人
 大阪府砂防ボランティア協会

顧問 **丸山明**
 (昭43 工・土木)

e-mail: osakasabovof@tea.ocn.ne.jp

Be ambitious 92号の発刊に協賛します

井上和男
 (昭46 工・合化)

日沖勲
 (昭40 農・工)

下岡健藏
 (昭45 工・応物)

(一社)北海道大学関西同窓会館代表理事
 (二社)札幌農学同窓会関西支部 相談役

波多勇
 (昭43 農・農化)

産業・キャリアカウンセラー 中小企業診断士
 個人と組織を癒す 100人人間関係研究所

田中貞之
 (昭44 農・生)

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家一三三二二六
 TEL(〇七八)八四二一五四六一
 e-mail: sada@Tanaka@vilkahnet.jp



北水同窓会大阪府支部

顧問 **久保田幸一**
 (昭45 水・化)

携帯(〇九〇)八三八一〇八七五

北水同窓会大阪府支部

顧問 **入江和彦**
 (昭45 水・漁)

携帯(〇九〇)三六七六一五〇〇二
 e-mail: kaz-rie@gg45so-net.ne.jp



昭和 27 年 (1952 年) 5 月設立
工業薬品の製造・販売

要 薬 品 株 式 会 社

代表取締役 **嶋 田 誠**
(昭 42 農・農工)

本社：〒550-0003 大阪市西区京町堀 3-2-7
Tel 06-6445-0876 <http://www.kaname-chem.co.jp>
臨海第 1 工場・臨海第 2 工場 (堺市西区築港浜寺西町)

西日本恵迪寮同窓会 相談役
北水同窓会大阪府支部 顧問

浦 谷 義 博

(昭 45 水・水化)
〒520・2421 野洲市野田一六七九

(一社) 札幌農学校同窓会関西支部

相談役 **三 津 正 人**

(昭 45 農・農工)

〒562・0045 大阪府箕面市瀬川一丁目二四
TEL (071) 724-1680
E-mail: masatomi3232@gmail.com



(一社) 北海道大学関西同窓会館

亀 田 康 二

(昭 47 農・農化)

TEL (075) 721-1841-4

丸二倉庫株式会社

代表取締役 **湯 川 康 史**

(昭 47 経済)

北海道産業集積アドバイザー

株式会社サンプラザ 開発部

田 中 文 夫

(昭 50 水産食品系)

TEL 090-1027-7830
E-mail: f.tanaka@hokusuioisaka.net

水産経済新聞大阪支局 次長

川 邊 一 郎

(平 3 水産増殖系)

TEL 070-5086-6577
E-mail: kawabe@suikeinet.jp

その先の道へ、北海道

弁護士

中 島 光 孝

(昭 49 法)

中島光孝法律事務所

〒060・0051 札幌市中央区南一条東二丁目一三
和興ビル七階一号室
TEL (011) 596-7431
FAX (011) 351-1520

松元不動産鑑定株式会社

代表取締役
不動産鑑定士 **松 元 照 幸**

(昭 48 工・土木)

〒651・0083 神戸市中央区浜辺通五丁目一四
神戸商工貿易センタービル八階
TEL (078) 271-7855
FAX (078) 271-7856

北海道大学関西同窓会

会 長 **植 松 高 志**

(昭 48 法)



日本絨氈株式会社

会 長 **池 崎 博 之**

(昭 51 工・機械)

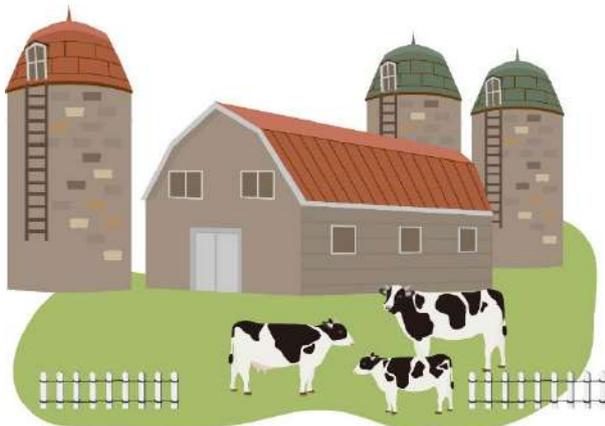
〒592・8362 大阪府堺市西区築港浜寺西町八十二
TEL (072) 268-0020
《事業内容》各種カーペット・敷物の製造販売

有限会社あんでばんだん 代表取締役社長
サブリメント管理士マスタ
北水同窓会大阪府支部 顧問

大 村 泰 治

(昭 51 水・食)

〒530・0053 大阪府北区末広町二丁目一七
エステムコート梅田東アタパレス三〇二号
携 帯 (090) 916-3149-14
e-mail: opc17116onura@yahoo.co.jp
URL: <https://www.andepandan.com/>



脱サラで裁判官を二三年していました。
手作りで丁寧な仕事を心がけています。

弁護士

北川和郎

(昭54 水・漁)

紳法律事務所

〒530・0047大阪府北区西天橋四丁目七番一七号館二〇二
TEL(〇六〇)六三六五一一〇〇一
FAX(〇六〇)六三六四七六三八
e-mail: kar@kizmanet
HP: https://kizmanet/

北水同窓会大阪府支部

理事 **金子哲郎**

(昭54 水・食)

〒060・0005札幌市中央区北五条西十一丁目二二〇二
(帰省先)
〒531・0073大阪市北区本庄西一丁目七三三二二
携 帯(〇九〇)三四八五一七〇六
e-mail: g0903487106@docmanet.jp

北水同窓会大阪府支部

顧問 **石田浩平**

(昭54 水・食)

〒662・0932兵庫県西宮市在住
携 帯(〇九〇)三九九一一三四四八
e-mail: fwg3165@nifty.com

帆船会(体育会)ヨット部OB会 関西支部長
北水同窓会大阪府支部 顧問

玉置純

(昭51 水・漁)

〒563・0023大阪府池田市井口堂一四一四一A号
FAX(〇七二)七六一一三四六一

北水同窓会大阪府支部

理事 **佐藤信光**

(昭57 水・化)

〒654・0122神戸市須磨区道正台
一〇一〇〇七
携 帯(〇九〇)七八八二一一三三三

北水同窓会大阪府支部

監事 **佐々木雅人**

(昭56 水・化)

〒574・0054寝屋川市下神田町二九八
FAX(〇七二)八二六一六三九六

北水同窓会大阪府支部

支部長 **大橋人司**

(昭56 水・漁)

〒567・0044茨木市穂積台八上二
TEL(〇七二)六二七二五三三三

安心と安全の老後をお手伝いします。
小さな会社の特色や技術をサポートします。

弁護士 **中西圭太**

(昭54 水化・昭56 同修士)

新神戸法律事務所
〒650・0038神戸市中央区西町三五番地三井神戸ビル二階
TEL(〇七八)五九九五四二五
FAX(〇七八)五九九五四二四
e-mail: nakamishi@shinkobe-law.jp

北 摂 み ら ち 司法書士事務所

代表司法書士 **光田正子**

(平17 法)

〒567・0868大阪府茨木市沢良直西二丁目二〇
タウンス・オランジュ法律事務所
TEL(〇七二)六六五二六四四六
FAX(〇七二)六三三七〇三〇七
e-mail: mitsu-da-nasako@hokuseisus-mitane.jp

弁護士 **秋山哲郎**

(平6 法)

弁護士法人
クラス・オランジュ法律事務所
〒530・0003大阪府北区堂島二丁目一三二
京阪堂島ビル三階
TEL(〇六〇)六四五七七六五四
FAX(〇六〇)六四五七七六五五
e-mail: akiyama@grace-orange.jp

田丸産業株式会社

代表取締役 **堀田高志**

(昭61 経)

〒550・0011大阪府西区阿波座二丁目四丁目マルビル
TEL(06)653116661(代)
FAX(06)6543144003
URL: http://www.tamaru-ind.co.jp

従業員がイキイキ活躍する、組織営業力強化の専門家
認定経営革新等支援機関 / 中小企業診断士

代表 **青木孝之**

(昭59 水漁)

合同会社北大阪K.B.S.C. <http://soilsupport/>
〒567・086大阪府茨木市東奈具一丁目二〇三
携 帯(〇九〇)三六五四一三七三三
aoki70427@biscuit.ocn.ne.jp

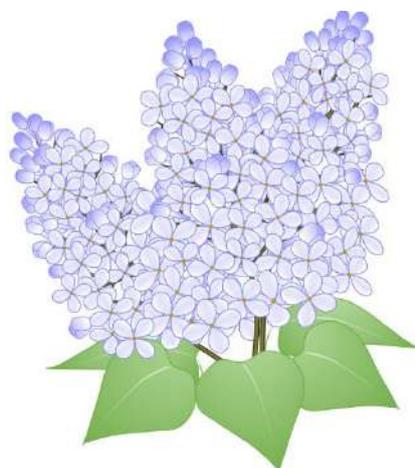
前身：明治3年創業
(本家藤井錦とん店)
2020年11月株式会社設立
理想の自分に邁進(マイソウ)する
(永遠のBoy's be ambitious)

株式会社 **ボビサス**

代表取締役

藤井英嘉

〒561-0881
豊中市中樞塚2丁目27-22
(阪急岡町駅：原田神社正門鳥居前)
TEL (06) 6852-5253
FAX (06) 6843-2393
携帯 080-1975-8008
e-mail: hidesannmaru3@yahoo.co.jp
(HP <https://rurihall.com> 他)



北水同窓会大阪府支部

支部月例会(懇親会)を毎月開催

北大会館にて毎月第3土曜日 17:00~
会費 2000 円、飛入り参加歓迎です!

〈事務所〉

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-200 号
大阪駅前第2ビル2階 北大会館内
支部長 大橋 人司 (昭56 水・漁)
TEL 06-6343-3736

e-mail : info@hokusuiosaka.net
支部ホームページ : <https://hokusuiosaka.net/>



大阪ガス エルム会

諸岡 孝明 (平成2年 法)
山口 哲 (平成2年 法)
竹中 豊樹 (平成3年 法)
北村 芳久 (平成6年 経)
植田 栄志 (平成8年 法)



大阪ガス エルム会

青木 康修 (平成10年 工機)
小林 洋一郎 (平成11年 経)
小松 賢司 (平成17年 工社)
若林 太郎 (平成17年 工機)
山中 麻希 (平成20年 経)





琵琶湖ジンパ参加の感想と大学時代の思い出

中村聡宏（2014(H26) 農・農工）

2014年（平成26年）北海道大学農学部卒の中村聡宏と申します。本会報には初投稿させていただきます。

私は北海道で生まれ育ち、大学卒業後関西に就職して滋賀県に配属となっています。就職直後、同じ会社に勤めている北大卒の先輩に誘われ関西同窓会に参加することとなり、現在に至ります。

琵琶湖ジンパには今回含めて2回参加していて、前回いつ参加したかを思い返してみると2019年の第3回琵琶湖ジンパでした。その当時婚約者だった今の妻と参加させていただいています。今回琵琶湖ジンパには妻と4歳、0歳の娘2人の合計4人で参加いたしました。このような形で家族と参加できることは感慨無量です。



当日は快晴でとても良い気候でした。写真は琵琶湖で遊ぶ筆者家族達です。大学にいたときは定期的に食べていたジンギスカンも就職してからはこの関西同窓会で開催されるジンパでしか食べることがなくなっていました。そのため、たくさん用意されたジンギスカンを見てワクワクが止まりませんでした。用意いただいた幹事の皆様、大変ありがとうございました。皆さんも同じ気持ちだったのか、どんどん焼かれる肉がすぐに無くなっていきます。ジンパにはかなり幅広い年代の

方や様々な学部の方が参加されていました。参加者の方々と大学時代のジンパの話をしている中で理学部ローンなどの単語を聞いていると大学時代を思い出します。また、就職してからの現在のお話などいろいろな興味深いお話を伺うことができたととても楽しかったです。



今回参加した4歳の娘はまだジンギスカンには目覚めてはおらずウインナーとおにぎりばかり食べていました。ほかに参加していた小学生の娘さんがとてもよく遊んでくれて嬉しかったです。かくいう私も結構な割合で琵琶湖のほとりにて貝殻やシーグラスを拾ったり、水に足をつけたりなど遊んでしまいました。滋賀県に約7年住んでいるにもかかわらず、琵琶湖では片手で数えられるほどしか遊んだことがなく、とても新鮮でした。

ジンパが終わりに近づき、恒例の都ぞ弥生を歌うために円陣を組みます。まずはひとりひとり順番に自己紹介をしました。皆さんが現在何をしているのかなど興味深かったです。このとき、同年代の人など話せていない人がいたことに気づき、次の機会があったら話してみたいなと思いました。そして、都ぞ弥生は1番2番を歌います。正直うろ覚えとっていましたが、大学在学中の卓球部では1番2番を定期的に歌っていたため、体が覚えていま

した。

とても楽しい時間を過ごすことができました。幹事の皆様、当日までの取りまとめ、会場の確保、食材や飲み物の調達など多大なご尽力をいただきありがとうございました。次回も家族を連れて参加したいと思います。また、もしこの会報を見られてお近くにお住いの方はぜひ次回の琵琶湖ジンパに参加いただけますと嬉しいです。ジンパはお子様連れでも参加できる貴重な(?)飲み会だと思いますので、ご家族も一緒にぜひお願いします！



ここからは初めての同窓会誌への寄稿ということで、大学時代の思い出を語らせてください。

大学合格後、どこに住むかという話となり、当時地元の先輩が先に入寮していた恵迪寮に入寮することとなりました。ドキドキしながら寮に入ると、部屋決めという名の芸大会が始まり、良さそうだった部屋のプラカードをとってその部屋に入るといふ流れだったと思います。その後は怒涛の如くたくさんのイベントを経験しました。各部屋をまわって自己紹介をしつつ部屋で出される無茶ぶりをこなす部屋回り。食い極という名の大量のごはんを食べるイベント。ヒッチハイクを駆使して土幌の小屋に行ったりしたのも今となっては良い思い出です。今回皆さんで歌った都ぞ弥生は最初恵迪寮で覚えました。寮生としては模範的だったかは怪しいですが、楽しい思い出の

一つとなっています。

また、部活動としては体育会の卓球部に所属しました。中、高と卓球部で何か別のことをやろうかといろいろ考えていましたが、なぜか吸い込まれるように大学でも卓球部に入っていたことを覚えています。卓球部でも個性的なメンバーとともに練習や飲み会など良い思い出ができたと思います。体育会の部活といえば七大戦も忘れられません。毎年、旧帝大七校が持ち回りで主催して他校の方々との試合があります。私が所属していたころの卓球部では、団体戦、シングルス・ダブルスの個人戦はもちろんのことでしたが、玉の部という名のボーリング大会、裏の部という名の麻雀大会があったと記憶しています。2年目の時には北大主催となり、その際に裏の部の麻雀大会の運営要員として先輩から麻雀を教わってドはまりしていました。結局、教えてもらった先輩より私の同期達が一番ハマっていたのではないのでしょうか。

卓球、麻雀は今では私の一生モノの趣味になったと思います(笑)

ここまでいろいろ思い出しましたが、勉強面の話が全然出てきませんね。農学部ではあまりまじめな学生ではなかったかもしれませんが、なんやかんやでストレートで卒業できたのは周りの友人達や先生のおかげだなと思います。

最後になりますが、周りにOB、OGの方がいらっしゃったら、ぜひ関西同窓会の集まりに誘っていただけましたら幸いです。いろいろな縁がつながっていけば良いなと思います。



第 29 回歴史ウォーク～「源氏物語ゆかりの地、宇治を巡る～

三段崎俊彦（1959（S34）農・農化）

今回の第 29 回歴史ウォークは 2024 年 10 月 30 日（水）京阪宇治駅を 10 時 40 分参加者 11 名が出発し、幕を開けました。今回も前田さんには下見、コース資料作成、当日の案内等お世話になりました。また、参加者中「長老」と言うことで植松会長より指名され、三段崎（87 歳）が記事作成を引き受けました。

NHK の大河ドラマ「光る君へ」を皆さん観ていたと思いますが、今回は「源氏物語」ゆかりの地である宇治を巡りました。

宇治は風光明媚な土地で平安時代には貴族の別荘地があり、平等院は藤原道長の別荘を道長の長男関白藤原頼道が寺院に改めたものです。



京阪宇治駅前に集合 左から前田直臣(S43 理) 八田方良(S52 農) 南里聖三(S42 経済) 香川幸一(S36 工) 三段崎俊彦(S34 農) 煙山孝(S46 工) 植松高志(S48 法) 亀田康二(S47 農) 深井敬三(S40 工) 乗田昌司(S42 工) 井上和男(S46 工) 敬称略

(1) 宇治川太閤堤跡

京阪宇治駅のすぐ北側宇治川の東側に豊臣秀吉によって築造された堤跡があります。豊臣秀吉は、文禄 3 年（1594 年）に完成した伏見城築造を契機として、宇治川・淀川等の付け替え等大規模な治水工事を行ったが、この堤跡は淀川水系の治水・交通に関する施策と土木技術を具体的に示す遺構として極めて重要であります。



宇治川太閤堤を指さして

(2) 「光る君へ」宇治大河ドラマ展

ちょうど、お茶と宇治のまち交流館「茶づな」の会議室で大河ドラマ展が開催されていました。千年の時を越えるベストセラー「源氏物語」の作者・紫式部を主人公に、貴族文化華やかなりし平安中期を舞台に描いた2024年の大河ドラマ「光る君へ」では、主人公のまひろ（紫式部）を吉高由里子が、時の権力者・藤原道長を柄本佑が演じました。



お茶と宇治のまち交流館「茶づな」



源氏物語ミュージアム入口にて



貴族の女性の部屋



藤原道長と紫式部の間に立って（著者）

(3) 源氏物語ミュージアム

最初に入る部屋は「春の部屋」で、物語の主人公である光源氏が華やかに活躍した光りの世界を表現したもので、その部屋には牛車・女性の装束・貴族の女性の部屋を展示している他、光源氏の住まいである六条院の模型も展示しています。光源氏亡き後、物語の主な舞台は宇治に移ります。



源氏物語ミュージアム横の公園での昼食

(4) 宇治上神社・宇治神社

宇治上神社は1060年に建てられたとされ、今日に至るまで残り続けている貴重な建物で、ユネスコ世界遺産「古都京都の文化財」のひとつとしても有名であります。本殿（国宝）は平安時代後期に建てられ、醍醐天皇が両社を合わせて「宇治離宮明神」と名付けられ正式名称となっていますが、明治維新以降「宇治上神社」と「宇治神社」に分かれました。



宇治上神社

宇治上神社の拝殿（国宝）は鎌倉時代前期に伐採された桧が使用されており、鎌倉時代の優れた建物遺構です。

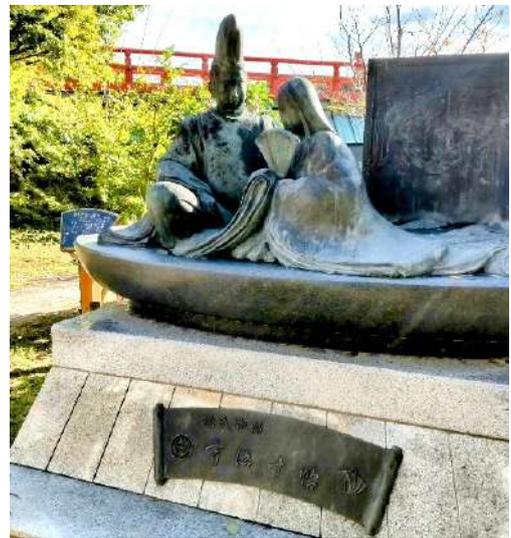
（5）十三重石塔

宇治神社の一の鳥居を出て、宇治川に架かる朱色の朝霧橋を渡ると、宇治川の中州に当たる橘島です。更に下流にある浮島に渡ります。

写真のモニュメントは宇治川の右岸の朝霧橋のたもとにあり、源氏物語「宇治十帖」の古跡全体を象徴するモニュメントであります。ヒロイン浮舟と匂宮（におうのみや）が小舟で宇治川に漕ぎ出す有名な情景をモチーフにしています。



宇治上神社本殿覆屋（国宝）



浮舟と匂宮



宇治上神社拝殿（国宝）



十三重石塔



宇治神社の鳥居

十三重石塔は宇治橋上流の塔の島にある高さ15mの我が国最大の石塔で、1286年に西大寺の僧・叡尊により建立されました。叡尊は殺生禁断の思想の持ち主で、網代や漁具を埋めその上にこの石塔を建立し、魚霊の供養と宇治橋の安全を祈りました。この十三重石塔は国の重要文化財に指定されています。

(6) 宇治川先陣の碑

寿永3年(1184年)1月に起こった宇治川の戦いは、木曾義仲と源頼朝という源氏同士の戦いでありました。源頼朝は法王の命を受けて、木曾軍追討のために範頼・義経の二人の弟に数万の大軍を預けて京に上り、結局、宇治川の合戦は木曾側400に対して義経率いる2,500の兵という圧倒的な兵力の差となりました。この合戦の白眉は義経側の先陣争いでありました。

池月に乗った佐々木高綱と麿墨に乗った梶原景季の両名が先陣を争いましたが、最後に高綱が先陣の名乗りを上げたのでした。



宇治川先陣の碑

(7) 平等院

現在の平等院の地は、9世紀末頃光源氏のモデルともいわれる嵯峨源氏の左大臣源融が営んだ別荘だったものが陽成天皇、次いで宇多天皇に譲り、朱雀天皇の離宮「宇治院」となり、それが宇多天皇の孫である源重信を経て長徳4年(998年)摂政藤原道長の別荘「宇治殿」となったものです。道長は万寿4年(1027年)に没しますが、その子である関白藤原頼道は永承7年(1052年)末法の世が到来したこともあって、宇治殿を寺院に改めました。

平等院ミュージアム鳳翔館は極楽浄土を現世に再現した壮麗な鳳凰堂で有名な世界遺産「平等院」の敷地内にあるミュージアムです。史跡名勝に指定されている風雅な庭園の景色と調和するように建物の大部分が地下構造になっています。自然光を巧みに取り入れ照明も工夫することで、地下とは思えないドラマチックな空間を実現しています。

打ち上げ会を行うべく居酒屋を探しましたが、午後4時頃なので見当たらず打ち上げ会は中止とし、現地解散しました。



平等院を背景に記念撮影そして解散

第 19 回文楽観劇会に参加して

牧野俊一 (1963 (S38) 理・生物)

この度、久々に「第 19 回文楽観劇会」に家内と一緒に参加しました。関西同窓会の文楽鑑賞会に初めて参加したのは 2018 年 7 月です。その時のことは、会報 Be ambitious 第 81 号 (51P) に寄稿させていただきました。

私が文楽に興味を持ったのはもうだいぶ前のことですが淡路島で人形浄瑠璃を観劇したことが切っ掛けです。加えて、戦後の「文楽」の再興に尽力された大先輩の故牧野文雄 (S17 工) 関西同窓会名誉会長の関西同窓会会報の連載記事 (関西エルム新聞 No.54~56) を通読し興味をさらに深めた次第です。今回も、「文楽」となると、会報 85 号を開きました。故牧野文雄先輩の解説から推測しますと今回の催しは国立文楽劇場の開場 40 周年にあたることを知りました。次に、今回の概要を記します。

○演目：「仮名手本忠臣蔵」

○期日；2024 年 11 月 9 日 (土) 10 時集合。開演 11 時・終演 15 時 20 分

開演前に特別用意の別室に集合。今回は技芸員三味線・鶴澤友之助氏による特別講習を受けました。文楽用三味線は特別仕様です。太棹でバチも厚めで丈夫、皮も同様でしっかりしたものを使用しているそうです。特別な場合には多勢で演奏しますが、通常は、語り大夫一人、三味線一人で演ずる場合が多いそうです。演ずるときの心組み等、師・先輩に倣い、つとめるようにしている等、友之助氏の三味使いへの心構えを詳細に説明してもらいました。

今回の「仮名手本忠臣蔵」は、映画・テレビ等々、度々見る機会の多い演目です。

内匠頭(たくみのかみ)浅野長矩氏と、特に、私の同郷愛知県の吉良上野介義央(きらこうずけのすけよしなか)氏のその後がとても気になりました。この機会に浅野と吉良のことを少しばかり詳細に調べてみようかと百科事典(平凡社)を開いてみました。

◎浅野長矩(ながのり) [1667~1701]

赤穂藩主・内匠頭。幼名は又一郎。曾祖父・長重(ながしげ)は浅野長政の三男。祖父・長直(ながなお)の代、1645(正保 2)年に赤穂に移封。1675(延宝 3)年に、父長友の遺領を相続し、播磨・赤穂城 5 万石を領した。1701(元禄 14)年 3 月、高齢の勅使東下にあたり、伊予宇和島藩主・伊達村豊とともに接待役を命じられた。しかし、礼式の指南役たる高家の吉良上野介義央(よしなか)に「わいろ」を贈らなかつたため指導を受けられず、かえって逆に恥辱を与えられ、ついには思いきわまって 14 日、江戸城中で義央に切りつけたが、抱きとめられて目的を果たさず、田村右京大夫建頭(けんとう)の屋敷に預けられた。その夜、切腹を命じられ、領地を没収された。

◎吉良義央(よしなか) [1641~1702]

江戸時代中期の幕臣。三河東条・吉良家の末で、高家(こうけ)の家柄。父は若狭守義冬。母は大老・酒井忠勝の弟忠吉(ただよし)の娘。

1657(明暦 3)年、従四位下侍従に叙任し、上野介と称した。1668(寛文 8)年、父の遺領をつぎ、吉良庄 4 千石を知行した。上杉定勝の娘を妻とし、子の綱憲は、上杉家の養子となって上杉家を継ぐなど、姻戚に名家が多い。天皇の即位や將軍宜下などに際して数度にわたり京都に上り、礼式に精通して、幕府に重んじられた。逆に、それが故か傲慢な性格のため、1701(元禄 14)年、浅野長矩の傷害に合い、ついには「赤穂浪士の討入」によって殺された。養子・養周(よしちか)はその際の処置をとがめられて、一度家は断絶したが、姻戚に名家揃いの故あってか、のちに分家によって再興を果たした。

少し百科事典の頁をめくって「赤穂浪士討入」という項目を見つけた。

◎赤穂浪士討入

江戸時代、赤穂藩の浪士たちが旧主の「仇」を討った事件。

1701（元禄14）年3月、播州赤穂城主浅野長矩（ながのり）が江戸城中において、高家吉良義央（きらよしなか）に切りつけた事件に対し、幕府は長矩を切腹させ、赤穂藩を取りつぶすという厳罰をもってのぞんだ。これは長矩の場所（江戸城中・松の廊下）をわきまえない行動をとがめたもので、けんかとはみなさなれなかった。相手の義央には何の処罰もなく、ただ、まもなく自ら隠居しただけだった。

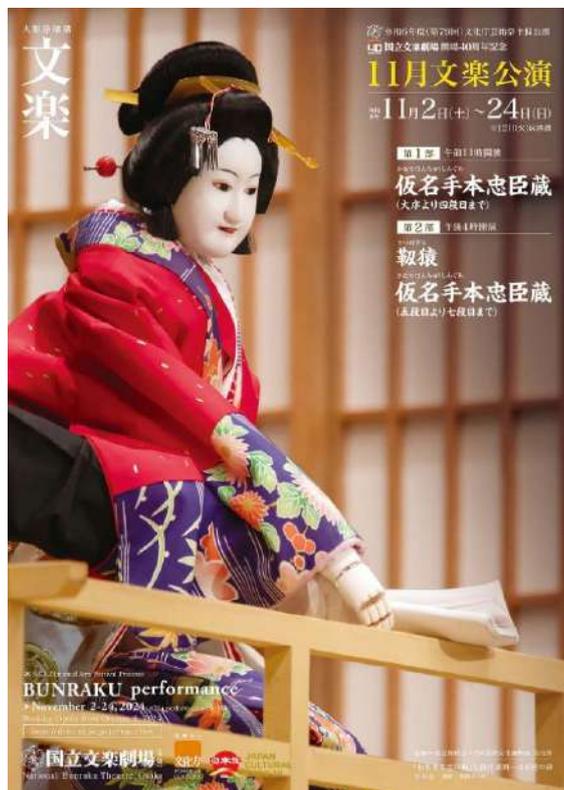
しかし、世上には、この処分の片手おちを非難する声もあった。また城を明け渡して離散した赤穂藩士らは、主君の恨みを忘れず、もと城代家老の大石内蔵助（くらのすけ）良雄を中心に盟約を結んで時機を待った。良雄らはまず長矩の弟の大学長広をもり立てて主家を再興しようとはかったが、翌年7月にはこの企ても失敗に帰し、復讐の計画を具体化した。

1701（元禄14）年12月14日夜、大石以下46人の同志は、江戸本所の吉良邸をおそって復讐をとげ、翌朝、泉岳寺の長矩の墓前に義央の首をささげたいえ、幕府に届け出て、その処置を待った。

幕府は46人を細川など4家の大名にあずけ、翌年2月に至り全員に切腹を命じた（46人のほか、討入当夜逃亡した寺坂吉右衛門信行を加えた四十七士ともよぶ）。この事件は、江戸時代における敵討（かたきうち）の代表的なものとされ、世人の大きな賞賛を集めた。

戦国期をへだたること一世紀におよび、武家の風俗のたるみとともに、敵討という戦国的風習が観念的に美化して考えられる傾向があったこと、および、吉良を一典型とする幕府上層の権勢家に対する反感が、武士のみならず庶民の間にまで底流していたこと、などはとくに大きな観劇をよんだ原因であろう。

学者の間には、《義人録》を書いた室鳩巢（むろきゅうそう）をはじめ、無条件に賛美する者と、荻生徂徠、太宰春台、佐藤直方など批判を加えたものがあり、思想史上の興味ある一題目をなしている。また、この事件を題材とした小説や戯曲は事件直後より数多く作られたが、中でも近松門左衛門の「碁盤太平記」と、武田出雲らの「仮名手本忠臣蔵」とは長く世上にもてはやされた。



天王寺動物園見学会に参加して

小澤裕子（1999（H11）医療技術短大部）



はじめまして。
1999年に北海道大学医療技術短大部作業療法学科を卒業しました小澤裕子と申します。卒業後は作業療法士として精神科医療に携わり、30歳を越えて

から大阪の大学院にて臨床心理士資格を取得。（後に公認心理師も。）精神科医療の臨床・教員、病院・地域、作業療法士・心理士、北海道・大阪、と立場や場所を行ったり来たりしつつ25年経ち、今は大阪公立大学で公認心理師の育成に携わっています。3年前に大阪に戻って来たタイミングでOB会などに誘っていただく機会が増え、ちょこちょこ顔を出しております。

今回の『天王寺動物園見学会』（11月30日開催）にもそのような繋がりでお声をかけていただき、友人と参加しました。説明を聞き逃している部分もあると思いますが私の理解した範囲での報告をさせていただきます。

まず、てんしばゲート前に集合したのですが随分綺麗になっていて驚きました。天王寺は日常的に通過するのですが、買い物をするくらい。プライベートで動物園に足を踏み入れたのは子供の頃以来のお久しぶりでした。10年ほど前に仕事で入場した時はゆっくり動物たちを見る余裕は全く無く、今回はとても新鮮に楽しめました。

今回のイベントでは向井園長（北大・獣医）直々の説明を各自インカムで聞きながら動物たちを見て回るというとても貴重な体験をさせていただきました。先日の寮歌祭（私は寮OBではありませんが、こちらもお誘いいただいたの参加）で向井さんの講演をお聞きした際に、私の愛読書『動物のお医者さん』に出てくる獣医さんのモデルだということが分かりテ

ンションが一気に上がりました。『動物のお医者さん』で北大を知り、憧れ、一度は諦めたもののご縁があって入学したので大変感慨深かったです。

見学中はインカムのおかげで少々離れても園長のお話が聴け、見学者からの質問も随時お答えしていただきました。獣医学部卒の方々の質問はレベルが高く質問自体にも感心することしきり。そのような中で印象に残っている動物たちを思い返すと・・・ペンギンはただただかわいく、一斉に動く姿がさらにかわいい。地上では拙い歩行でかわいいですが、水槽を下から見ていると飛び回っているように見えます。



飛び回るペンギン

アザラシも水中ではカメラで追えないほどのスピード。同じ水中でもワニは目と鼻だけ出して身体は脱力。爬虫類は得意ではないけれどヨウスコウワニの赤ちゃんはなんともかわいらしい。エサ箱に顔を突っ込んでいるカメ達のお尻がこれまたかわいい。



身体脱力のワニ

大型猫科の説明が段ボールに手書きだったことも印象深い。そして猫飼いとして「猫は大きくてもやっぱり猫」と実感。また、立地が天王寺駅から徒歩5分ほどで、キリンの背景にあべのハルカスが映り込むというサバンナと街の融合のような景色を見ることができました。しかもキリンの名前がハルカスちゃん(笑)。



ハルカスちゃんとあべのハルカス

いたるところに生物の自然な生活、循環の工夫がされていることに感心。サルの鳴き声が始終聞こえていましたが、工事中ということで見ることは叶わず残念でした。シロクマはちょうど水遊び中で、毛の色がグレー。どこかの子どもが「シロクマさん、汚れてる～」と無邪気に言っていました。これは汚れているのではなくシロクマの毛の構造にあります。シロクマの毛は透明で、水に濡れると黒い地肌が透けるのでグレーに見えるのです。と受け売り(笑)。

特に印象的だったのは動物のトレーニングの説明でした。ハズバンドリートレーニング(受診動作訓練)というもので、健康管理、治療、投薬がしやすい体勢を覚えてもらうトレーニングです。ご褒美をもらうことによって動物が自主的に合目的行動をとれるようにするためのもので、動物の為に必要且つ負担がかからない方法です。私の仕事の対象は「ひと」ですが、本人の為になることとはいえ鞭や罰で無理やりさせるのではなく、自分が自分の意志で行えるようになるためのトレーニングというところは「ひと」にも共通する

考えだな、と共感。また柵をまっすぐではなく斜めにすることで万が一の事故を防ぐ、など環境面での合理的な工夫も知ることができました。

見学終了後、希望者はてんしぼのお店にて昼食。人気のお店でお昼時は込み合っていました。2階席を貸し切りしてもらい、落ち着いて食べることができました。幹事様ありがとうございました。

ほとんどの参加者が大先輩で、素敵な歳の重ね方をされているなど感じると同時に、同窓会の存在意義のようなものも感じることができました。心理学的には高齢になると若く楽しかった時代のことをよく思い出すレミニッセンスバンプという現象があります。北大時代はまさにこの時期に当てはまり、私がもっと年を重ねたら今よりももっと懐かしく思い出すのだろうか、その頃にその思い出と今を共有できる仲間が居ればいいな、など考えていました。

動物を見に行ってもやっぱり「ひと」のことと繋げて考えてしまうのはワーカホリック気味だなどとも思いつつ、様々な学びがあった一日でした。このような機会を作り準備して下さった向井園長、幹事の皆様に心より感謝いたします。



グレーのシロクマ

二水会・三金会の講演一覧（2024年9月～2025年2月）

二水会・三金会連絡担当 藤田久美（1977（S52）文・哲）

北大会館で毎月開催される二水会（第二水曜日）と三金会（第三金曜日）では識者に特別講演を頂き、その後歓談して同窓生相互の親睦を深めています。遠隔地の方もご参加いただけるよう Zoom での開催も併用しております。

二水会		三金会	
2024/9/18	村田右富美（S61 文） やまとことばを漢字で記す	2024/9/13	田島朋子（S54 獣） 節足動物の生殖を支配する微生物
2024/10	休会	2024/10	休会
2024/11/13	三津正人（S45 農） 飛鳥(アスカ)・その真実を探る	2024/11/15	塩尻かおり（H8 農） 「かおり」が繋ぐコミュニケーション
2024/12/11	伊藤靖久（S42 工） 南海トラフ地震の再認識と 大阪市街地の現状・課題	2024/12/20	荒井一利（S54 水） 水族館の哺乳類
2025/1	休会	2025/1/17	根本浩一郎（S63 医） 糖尿病について
2025/2/12	寺田多一郎（S57 阪大院薬） お薬を知ろう	2025/2/14	宮地帝輔（農学部大学院生） クラフトビールの造り手、飲み手の 架け橋になる



二水会・三金会から

2024年9月三金会

節足動物の生殖を支配する微生物

田島朋子 (1979 (S54) 獣医)



ボルバキアは昆虫や線虫に感染する細菌です。卵を通じて次世代に感染が伝わるためメスでの感染が重要です。そこで、ボルバキアは卵からメスしか生まれられないようにする、

卵の中で発生中にオスを死亡させるなど、メスを確保するために宿主の生殖を支配します。最近、ボルバキアが感染した蛾の卵では、蛾がオスになるために必要な蛋白をボルバキアの蛋白が抑制して発生途中のオスを死亡させることが明らかになりました。この蛋白は **Oscer** (オス狩る) と命名されました。ベルサイユのばらの主人公オスカルが男装の女性であることを思うと複雑な・・・。

ボルバキアの生殖支配の例として、石垣島ではミナミキチョウにボルバキア感染が広がることでメスが 93.1%を占めるまで性比が変化しました。今後どうなるか興味があります。

また、ボルバキア感染した蚊の体内ではデングウイルスの増殖が抑制されます。感染した蚊が増えることでウイルス感染が抑えられることが期待され、インドネシアではネッタイシマカにボルバキアを感染させて野外に放しました。その結果、デング熱患者が 77% 減少しました。ブラジル、中国など多くの国で同様の試みがされています。世界では蚊が媒介する感染症で年間 70 万人以上が亡くなるといわれていますので、この試みが拡がり、被害が減ることが期待されます。

2024年11月三金会

「かおり」が繋ぐコミュニケーション

塩尻かおり (1996(H8) 農)



絵本や物語の中だけではなく、現実世界でも植物は他の生物や植物同士でコミュニケーションをしています。例えば、植物に虫がついて食べられると、植物はこれまでとは違った揮発性物質(匂い)を放出します。そして、その匂いは、食べている虫を食べる虫(虫の天敵)を誘引したり、隣の植物がその匂いを受容すると、前もって虫に襲われないよう

にします。このように、物静かに思われている植物は、実はメチャメチャおしゃべりで、虫や隣の植物とコミュニケーションしていることが明らかになってきました。

私はこれまで植物の匂いがもたらす生物間の相互作用に注目して研究をしてきました。今回の三金会では、匂いを介した植物同士のコミュニケーションが科学的に明らかになった研究や、植物が匂いで血縁認識(遺伝的近縁度)を識別すること、さらには植物間コミュニケーションを農業技術に展開した研究などを紹介しました。

コミュニケーションをしています。例えば、植物に虫がついて食べられると、植物はこれまでとは違った揮発性物質(匂い)を放出します。そして、その匂いは、食べている虫を食べる虫(虫の天敵)を誘引したり、隣の植物がその匂いを受容すると、前もって虫に襲われないよう



匂いを介した植物間コミュニケーション



過日の宮崎県日向灘を震源とする地震（2024年1.13：マグニチュード速報値6.9）で、南海トラフ地震関連解説情報第1号（気象庁：臨時情報）が出されました。

（臨時情報）が出されました。

私たち(S40 建築 深井敬三、S42 建築伊藤靖久)は、早速この臨時情報に関して意見交換をし、前回4年前の三金会において「南海トラフ地震に備える」との講演を行ったが、日が経ち皆さんの記憶が薄れてはいませんか？津波などの被害を受ける大阪市街地の現状がどうなっているのか？特に耐震化は進んでいるのか？など新たな知見を加えて大阪の課題を掘り下げ、再び講演をしようとなりました。

南海トラフ地震については、4年前の講

演時と比べ日本海溝沿いの南海、東南海エリアの地震観測網（防災科学研究所；DONET）が充実してきたこと、太平洋沿岸地域の南海トラフ地震想定エリア内の自治体の津波に対する備えも本格化してきたこと、日本の地震研究も進んできたこと、などをお話ししました。

一方、大阪市街地の現状については、築後30年を超えるマンション（大阪市のマンション戸数の39.4%、13.9万戸）を取り上げました。築後30年の意味は、1981年の耐震設計基準の改訂から阪神大震災(1995年1月)を契機に耐震設計基準が見直され、2000年の大改正を経て現在に至っていますので大震災後30年が経過したこと、従って、築後30年以前の建物は、耐震上問題があることを指摘しました。マンションなどの大規模建物の耐震改修が大きな課題として指摘されます。

水生哺乳類は海獣類ともよばれ、一生を海洋や河川で暮らす鯨類（クジラ・イルカ）と海牛類（ジュゴン・マナティ）、生活のほとんどの部分を水域に依存する鰭脚類（アザラシ・アシカ・セイウチ）が含まれます。これまでに鯨類の約半分の種、海牛類・鰭脚類では、ほとんどの種が世界で飼育されています。大変人気が高く、水族館の経営上でも重要な展示動物です。

飼育の歴史は長く、紀元1世紀に河川に迷入したシャチとローマ皇帝の近衛兵が闘った記録があり、ローマ皇帝の動物コレクションにチチュウカイモンクアザラシが含まれていたことが知られています。日本では17世紀後半にニホンアシカが京都の四条河原の見世物小屋で展示されていたことを示す絵画「四条河原図巻」が残っています。本種はかつて日本の各地に生息をしていましたが、1970年代にはほぼ絶滅したと考えら

れていました。しかし、2009、2016年に日本近海での目撃情報があり、本種の可能性が高いと考えられています。

水族館の役割は、リクリエーション・教育・研究・保全といわれています。展示を通して多くのことを知っていただくことはもちろんですが、海獣類は未知の部分が多く、水族館での飼育を通じて得られた情報も生物学的理解を深める貴重なデータと考えています。水族館でのさまざまな活動を通して、より多くの方にいろいろな情報を紹介していきたいと思っています。



シャチと一緒に

【2025年 第1回 北大関西同窓会 若手交流会 開催報告】
～関西在住の北大同窓生と北海道直送の旬の料理、楽しみませんか！～

近藤武憲（1994（H6）経済）

2025年度第1回若手交流会を、2025年2月15日に、ハコダテ酒場（大阪本町）にて開催致しました！ 残念ながら、体調不良で5名の方が欠席となりましたが、総勢31名、“函館”に思いを馳せ、おいに盛り上がりました。

今回、実は、お店探しを3ヶ月ほど前から始め、いくつかの候補の中から「ハコダテ酒場」を選びました。決め手は、オーナーさんが函館出身で、さらに北海道愛に溢れた方だったこと。実際にお話しして、意気投合してしまいました。どうせやるなら、“思い”が通じる方と！まさにWIN-WINですね！

そんなオーナーさんのお店ですから、料理も北海道愛に溢れた本物ばかり。函館直送の付出しから、お刺身、ラーメンサラダ、縞ほっけ、じゃがバターのイカの塩辛のせ、そして、最後はミニ海鮮丼と怒涛の北海道！ 皆さん、心だけでなく、胃もおなかいっぱい、北海道を楽しまれていました。

今後も定期的にこのような交流会を開催したいと考えております。今回参加頂いた方はもちろんですが、参加できなかった方も、次回のご参加お待ちしております。



北海道と言えば、やはり海鮮！
新鮮なネタばかり。美味でした。

■実施概要

- 日時：2025年2月15日（土）
18時30分～21時
- 場所：ハコダテ酒場
大阪府中央区本町4-4-12
- 参加者：平成・令和卒業生 31名

■参加者からの声

①シマホッケの大きさに感動！（平成8年法学部卒 植田栄志さん）

前回のヤマダモンゴルでの交流会に引き続き参加しました。毎回北海道に縁のあるお店での開催を楽しみにしています。今回はハコダテ酒場というお店でご主人も函館出身で、海の幸、ザンギなど本当に美味しかったです。中でもシマホッケの大きさに感動！大阪の居酒屋でホッケを注文することはありませんが、この大きさは見たことないです。そして北海道トークにも花が咲き、あっという間の時間でした。

次回も楽しみにしています！

②同じ学舎に通った皆さんとの時間（平成30年文学部卒 福田悦之さん）

仕事の転勤で、大好きな帯広から、泣く泣く大阪に出てきて1年弱。寂しい日々の生活を送っていたところ、知人に誘ってもらい、交流会に参加。本場さながらの食事と、時代は違えど同じ学舎に通った大先輩方。毎度、本当に良い時間を過ごさせてもらっています。

次回は都ぞ弥生と、永遠の幸も歌えたら楽しいな。

老いも若いも男も女も「友たれ永く友たれ」ってことで（笑）



ハコダテ酒場玄関



思い出話に花が咲いています。
右：参加者コメント頂いた福田さん



お酒も入り、上機嫌の皆様方(笑)



海の幸、山の幸、食べて飲んでピース！
左奥：参加者コメント頂いた植田さん
手前：縞ホッケ



全員で集合写真。皆さん、満面の笑み。さあ、大志を抱こう！（手前中央が筆者）

石澤 登氏を悼む

窪田開拓 (S36 工)

石澤様のご逝去に当たり慎んでお悔やみ申し上げます。

多大なご貢献をいただいた石澤氏と私との出会いを振り返ってみます。

私は昭和 60 年、阿澄関西同窓会事務局局長から、後任として事務局長の指名を受けました。以降 15 年間、私の会社を事務局として同窓会全般の業務を会社の年配社員に手伝ってもらいながら進めました。関西同窓会の設立は昭和 37 年で事務局の場所もサッポロビールの 1 室、大阪道路エンジニア (株) の 1 室、第一生命ビル (地下)、近藤清一氏所有の京町ビルと何度も変わりました。このころ会員の根城となる会館を取得しようとの計画が持ちあがりました。取得計画会議も何回も開き、一番の課題の購入資金は会員各位の浄財を募り、また、経済界で活躍される先輩諸氏には多額のご寄付をいただき 2,700 万円が集まりました。そして平成 14 年年末に念願の「北大会館 (大阪駅前第 2 ビル)」を購入できました。

私の事務局の仕事は多岐にわたっていました。特に同窓会員名簿作成には大変な労力を費やしました。個人情報問題もありもう何年も名簿発行ができておらず会員所在が不明瞭となり、その結果年々会員が減少する傾向にありました。そんな時、石澤氏が立ち上がったのです。「会員増強委員長」として、北大会館に詰めて各学部同窓会名簿をつぶさに調べ、関西に在住する同窓生一人一人にハガキに手書きで「関西同窓会入会の勧め」をしたため送り続けたのです。その地道な石澤氏の努力が実り、再び会員増加に転じたのです。まさに関西同窓会の中興の祖と言えます。心よりの感謝を申し上げます。

先般、ご逝去に際して奥様に手紙を

差し上げ、返事をいただきました。ご家族は、奥様圭子様と 3 人のお子さんがおられるとの事でした。

衷心よりご冥福をお祈りします。

文末ですが、石澤氏との会話が思い出されました。私は川西市居住で、あるとき東洋ゴム工業 (株) が川西市矢間にあると話したら「私の勤めていた会社だ」と言われました。農学部農芸化学出身が、この会社とどんな関係があるのか、今となっては分かりません。

石澤先輩を偲ぶ

波多 勇 (S43 農)

石澤先輩のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

先輩のあまりにも突然の訃報に信じられない気持ちでいっぱいです。2 月 11 日 16 時 55 分に自宅電話が鳴りました。石澤先輩の奥さまからでした。「主人が 2 月 7 日に入院先の病院で亡くなりました…。」気持ちが動転してしまい、どうお応えしたか？ 何をお聴きしたか？

私は農学部農芸化学科で石澤先輩の 7 年後輩で学生時代の思い出はありませんが、先輩の恩師である小幡弥太郎先生との共通の思い出を語り合ったことを覚えています。ビールの継ぎ足しを「過剰サービス！」と嫌がる先生でした。先輩は裏表のない率直なお人柄で、気楽に話し掛けていただきました。

同窓会のご縁は、2006 年頃だと思いますが、先輩から長文の手書きのお手紙をいただき、同窓会にお誘いいただいたことがきっかけでした。家族ともども「長い手書きの文」にビックリしました。農学同窓会の総会には何度か参加していましたが、関西同窓会があり、北大会館があることなど全く知りませんでした。さっそく関西同窓会総会に出席し、それ以来、北大会館の会議室

を安く便利に利用しています。

石澤先輩には昨年4月まで北大会館の当番をしていただいていたし、昨年2月の農学同窓会関西支部総会にはお元気でご参加いただきました。長年にわたる同窓会へのご貢献にただ感謝の気持ちでいっぱいです。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

石澤大先輩を偲んで

下岡健藏 (S45 工)

同窓会からの悲報を読み終えた時、言葉になりませんでした。そして「おい、元気かア!」と、電話が掛かってきそうな気がしました。「え〜ッ、江別高校のご出身ですか! 僕もです!」こんな会話から、まだ10年と経っていません。残念でたまりません。

「未だ仕事してるのかア?・・・じゃあ、シャーないなア」と電話があり、「そうか、じゃあ、時間つぶしに北大会館に来いよ」と電話があり、「編集委員の会議があるんだ。横で聞いているだけでいい、ちょっと来ないか」と電話があり、ついに会館に出向きました。時は2018年、79号(2018年3月発行)の編集会議だったと記憶します。

石澤大先輩の功績は何といっても「関西同窓会員を募ったこと」でありましょう。大先輩の人集めは単なる人集めにあらず、天性の優しさ溢れるお人柄もそこにはあったことでしょう。

同郷で江別高校出身・北大同期の片桐牧雄君(陸上部)が東京から来阪した時のことです。大先輩は”同郷・北大・陸上部”等の”縁”で連絡され、宴会場はJR茨木駅徒歩1分の“ほっかバル”とまで設定いただいたのです。ほっかバルの店主は宮田博己氏(H4教育・陸上部)。集った面々は、大先輩はもちろんのこと、同期・三津正人氏(S45農・陸上部)と、思いもよらぬ方々ともお酒を酌み交わすことができました。

石澤大先輩とお会いできた2023年総会の時も、「やア、元気かア!」と変わらぬお声掛けをいただきましたが、

この時が最後でした。石澤家が薩摩から津軽海峡を渡り何故北海道に行かれたのか・・・、道産子の私としましては、まだまだ沢山お聴きしたかったです。残念でたまりません。

ご冥福をお祈りいたします。

合掌

石澤先輩を悼む

井上和男 (S46 工)

石澤先輩は私にとっては“兄貴”のような存在でした。

昭和46年合成化学科を卒業した私はタイヤ製造会社の東洋ゴムに就職しました。半年間の工場実習を終えて、当時茨木市にあった中央研究所に配属されましたが、そこで逢ったのが唯一の北大先輩の石澤さんでした。

1年ほど過ぎたころ彼は私に見合の話を持ってきました。あまり乗り気ではありませんでしたが、どういう訳かその女性が我が妻となってしまったのです。

結婚して12年後、私は買収した桑名工場の再建のため三重県に単身赴任したのですが、追って石澤先輩も赴任されました。私はタイヤ製造工程の前工程、彼は後工程を担当し、単身赴任者同士、公私に渡って大いに工場を盛り上げたのでありました。

歴史と旅が好きな私は関西に帰ってきてからも石澤先輩に誘われて同窓会に加入、同窓会活動の一環として、2009年にはNHK大河ドラマ「天璋院篤姫」の故郷鹿児島、翌年の「龍馬伝」「坂の上の雲」で四国、翌々年には「江～姫たちの戦国」で近江に、2012年は「平清盛」で下関、九州へ、2014年には「軍師官兵衛」で兵庫、岡山の城めぐり、そして同年は北海道大学和歌山研究林訪問と、いつも石澤さんと一緒に旅を楽しんできました。

付き合いの期間が長かっただけ、今あの快活な先輩の石澤さんがいなくなり、心にポツカリと穴があいたようで寂しい気持ちで一杯です。

石澤さん、沢山の思い出をありがとう。できたら3年間一緒に頑張った桑名工場を再訪したかったなあ。

石澤登元関西同窓会副会長を偲ぶ 植松高志 (S48 法)

石澤登先輩の突然のご逝去の報に接し衷心よりご冥福をお祈りします。

突然のご訃報に大変驚き、寂しさ虚脱感を隠すことはできませんでした。先輩には関西同窓会、また広く北大校友会エルムに多大なご貢献をいただきました。私の知る範囲ではありますが、その功績を振り返ってみます。

○「北大関西同窓会」への貢献

私は関西同窓会の総務部長を経て、2016年10月の総会で会長を仰せつかりました。若輩の私を公私に亘り支えていただき、特に「会員増強委員会委員長」として関西同窓会の会員増強と活性化に果たされた功績は大なるものでした。私が北大会館に行くと、会館当番をされながら、各学部の同窓会名簿から関西在住者を洗い出し、自筆で「関西同窓会への入会を勧める」手紙やはがきを出されていました。積み重ねた便りは1,000通以上になったとおっしゃっていました。ご訃報を一斉メ

ールにてお伝えしましたが、多くの会員から「石澤さんのお手紙で入会しました。お陰様で同窓会活動を通じて北大に学んだ誇りを感じることができています。心よりの感謝とご冥福をお祈りします」との声が寄せられました。

○「校友会エルム」への貢献

北大の同窓会は2016年に連合同窓会が発展解消し「北海道大学校友会エルム」となりました。2026年創基150周年に向けて大学改革を大胆に進めるなかで、同窓会の内外の連帯を深めることを目途に「校友会エルム」が誕生しました。その活動推進のため関西同窓会は石澤登氏を送り込み、校友会エルムの理事・副会長に就任しました。現在基礎同窓会はグローバルに60有余に達し、同窓生の母校支援の最有力の団体に発展しています。これも石澤先輩の献身的な活動があったからと思う次第です。

以上のような活動を通じて「北大愛」を実践する大先輩であったことを実感する次第です。石澤先輩「お疲れ様。感謝申し上げます。」

私たちは今後の同窓会の活性化に向けて尽力することを御誓い申し上げます。

合掌

思い出の写真



2010年2月：高知坂本龍馬像前で(会報64号掲載)左から井上、松本直彦(S40 獣医)、豊沢敬一郎(S34 獣医)、石澤登(S37 農)、塚崎喜壽(S36 文)、河野迪夫(S41 理)、菊池康基(S33 理)；井上和男氏提供私(井上)を除いてみんな鬼籍に入りました。



2020年度(一社)札幌農学同窓会関西支部通常総会左から2番目が石澤登氏；花田俊幸氏提供



本学関連トピックス

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)キックオフシンポジウムを開催

7月25日(木)に本学が主催、文部科学省、日本学術振興会(JSPS)の後援で、「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」において採択された「フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムの構築と展開」に係るキックオフシンポジウムをクラーク会館で開催しました。ハイブリッド形式で開催した本シンポジウムには約570名(うち、オンライン約350名)の参加がありました。

はじめに寶金清博総長による開会の挨拶があり、続く来賓挨拶では、鈴木直道北海道知事(北海道総合政策部の大矢邦博次世代社会戦略監が代読)、北海道経済連合会会長・北海道電力株式会社代表取締役会長の藤井裕氏、総合科学技術・イノベーション会議の上山隆大議員、文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課の池田一郎課長から本事業における本学への期待を賜りました。

次に、瀬戸口剛理事・副学長から本事業の取組概要の説明を行った後、本学の4名の教員からリジェネラティブ(環境再生型)な、低投入・高収量・低排出の農業・畜産業や、安定・高収益・低排出の水産業を目指すための、農学、水産学、畜産学、生態学の各分野の研究を紹介しました。

シンポジウム後半のパネルディスカッションでは、西邑隆徳副学長の進行のもと、一次産業に関わる民間企業、大学発ベンチャー、地方自治体、研究者など、産学官のステークホルダー6名が一堂に会し、「ありがたい未来の食料生産システムの実

現に向けて」をテーマに、各パネリストがそれぞれの立場や事例に基づいて意見を述べ、現在の一次産業の現状からリジェネラティブな食料生産をどのように考えるか、ムーブメントを起こしてゆくにはどうしたらよいかなど、熱い議論が交わされました。また、会場でパネリストの発言を同時進行で絵や図形に描くリアルタイムグラフィックレコーディングを行い、参加者の議論への理解を深めました。オンライン参加者からも大きな注目を集め、シンポジウム全体の盛り上がりを一層高めました。

最後に、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局の柿田恭良統括官からシンポジウムと本事業の展望について総評をいただき、横田篤理事・副学長による挨拶で、盛況のうちに閉会となりました。(研究推進部研究支援課)



パネルディスカッションの様子

北大時報 No.845/令和6(2024)年8月

工学部が創立100周年記念事業を挙げる

工学部は令和6年9月に創立100周年を迎えたことを記念し、「SDGs オアシス オープニングセレモニー」、「工学部創立100周年記念式典・記念講演会・祝賀会」を挙行しました。

○SDGs オアシス オープニングセレモニーを挙行しました。

工学部フロンティア応用科学研究棟1階のセミナー室を改修し、7月にプレオープンしていた「SDGs オアシス」のオープ

ニングセレモニーを9月17日(火)に挙
行しました。オープニングセレモニーは、
幅崎浩樹工学部長の式辞に続き、前工学
部長で SDGs オアシスの設計に携わった
瀬戸口剛理事・副学長、宮永喜一工学部
同窓会理事長から祝辞が述べられた後、
瀬戸口理事・副学長(前工学部長)、幅崎
工学部長、泉 典洋工学院院长、近野 敦
情報科学研究院長(副工学部長)、宮永
工学部同窓会理事長によりテープカット
が行われました。テープカットの後、約
60名の教職員、学生等が出席して内
覧会が行われ、各コースの展示等を見
学し、コーヒーを飲みながら談笑する
などして、オープニングセレモニーは
盛会のうちに終了しました。

SDGs オアシスは、工学部 15 コース
の研究内容を紹介する映像、パネル、
模型などを展示しており、スクリーンも設

置されています。交流の場、工学部の研究
内容を広く知ってもらう場、学生会議、
講演会などのイベントとしての場等、多
目的な活用が期待されています。



テープカットを行う(左から)近野情報科学研究院長
(副工学部長)、幅崎工学部長、瀬戸口理事・副学長
(前工学部長)、泉工学院院长、宮永工学部同窓会理事長

北大時報 No.847/令和 6(2024)年 10 月

サイエンスフェスタ 2024 を開催

12月14日(土)、15日(日)の2日
間、札幌駅前通地下広場にて「サイエ
ンスフェスタ 2024」を開催しました。

令和4年から開始した本イベントは、
本学の学生の活動や研究成果が社会に
還元される姿を一般市民の方々に知っ
ただくとともに、次世代を担う小学生、
中学生及び高校生に、サイエンス(科
学技術)に興味を持ってもらい、サイ
エンスを通じて、新たな学びや気付き
を生む機会を提供することを目的とし
るものです。

今年「共創」をテーマとして、各種
企画を実施しました。14日(土)には
北海道テレビ放送株式会社の協力によ
り、onちゃんテラス1Fを会場として、
気象予報士の清水秀一氏と大学院生3
名による、天気と自身の研究内容を絡
めたトークセッションが開催されまし
た。また、初参加となる北海道大学病
院は札幌市保健福祉局ウェルネス推
進部ウェルネス推進課と共にさっぽ
ろウェルネスフェアを行うなど、自
治体、企業、高校らと連携することで、
例年以上の盛り上がりを見せました。

博士後期課程学生による研究成果の
ポスター発表については、今回ご来場
いただいた方々からの投票に加え、今
後、学内外の審査員によって、各賞
の受賞者を決定し表彰式を行う予
定です。

(学務部学務企画課大学院教育改革推進室)



ブロックで未来のまちを創るワークショップ

北大時報 No.850/令和 7(2025)年 1 月

役員会議事報告

総務部長 福井 毅 (S55 理・生物)

関西同窓会の役員会は年4回(12月、3月、6月、9月)、リモートで開催している。同窓会報各号に2回分の役員会の記録を掲載していく予定である。

I.2024年度第3回役員会 2024年9月17日(火)20:00~21:40開催 13名出席

- 1 <主たる行事・会議>等の報告:2024年度第3回役員会(6月18日)以降現在まで(植松会長):行事の紹介に加え、会長から以下の2点。1)大阪市の最高気温が猛暑日が続いているので、体調に気を付けよう。2)北大会館が「道新:今日の話」で紹介されたのは嬉しい。
- 2 2024年通常総会、特別講演会及び懇親会の計画(福井理事):北大並びに他の同窓会からの出席者の紹介があった。参加者を増やすため、9月17日現在の申し込み状況並びに他同窓会FB等での宣伝を行う。
- 3 2024年度の収支報告(入江理事):収入は290万円と予算の90%であった。支出は配送方法変更と北大会館事業支援金が増えた。その結果当期剰余金は50万円の赤字となった。
- 4 2025年度の予算案(入江理事):収入は、年会費納入額を530名で予算した。広告収入と校友会エルム支援金は、減少傾向があるので少なく見積もった。支出は会報の発送部数を700部程度に減らしたので会報印刷と発送費が少なくなる見込みである。北大会館業務支援金は27万円を計上した。当期剰余金は4万円ほどの黒字見込み。
- 5 各委員会活動報告
◇総務・企画委員会(福井委員長):経理、総務企画、編集の合同で、会費5年未払い者に会報送付停止連絡を行った。送付者:406名、反応:会報継続18名、会費等納入者:23名合計14万円。平成以降の卒業生を対象とした飲み会(交流会)を7月20日難波にて36名で開催した。来期の活動:交流会の継続開催、HPの活動報告に動画利用、同窓会紹介文書作成と活動動画・写真をHP掲載、会員名簿の一元管理への変更、メルアド収集、今後の会費徴収額の統一である。◇情報処理委員会(岩井委員長):今期は特段報告事項はない。◇産学連携委員会(松下委員長):前回の役員会から、報告する活動はない。◇会報編集委員会(下岡会報編集長):91号は9月末発送予定。60ページ程度にして、活字を2ポイント大きくし、写真も活用して見やすくした。北大創基150周年に合わせて、「温故知新」のタイトルで、各人の北大への思いや記憶を投稿するよう広く呼び掛ける広告を会報91号に掲載した。◇会員増強委員会(福井委員長):次期委員メンバーを植松さんと検討中。◇(一社)北大会館活動報告(2024.4~2024.6)(波多代表理事):9月21日に社員総会を予定している。22期はコロナ禍前の状況に営業状況が戻っておらず、大幅赤字となった。23期は管理組合費や固定資産税、当番交通費など削れないものはそのままとして、Zoom活用による会議交通費の削減、二水会・三金会 Zoom参加者からの参加料徴収、会議室の利用拡大、同窓会員からの寄付、銀行に眠っている資産の活用により収益の改善を図りたい。社員任期更新:高島、岩崎新任、丸山、仲村両氏の退任となった。文楽鑑賞会は11月に変更した。演目は仮名手本忠臣蔵、申し込み締め切りは9月27日です。
- 6 2025年度役員案および委員会案(福井理事):現行と同じで、変更はない。
- 7 その他(項目のみ)1.2025年通常総会時の関西同窓会特別講演について、2.歴史ウォーク、3.Cloud上の同窓会内共有ファイルの利用、4.次年度年間スケジュールへの協力依頼

II.2025年度 第1回役員会 2024年12月17日(火) 20:00~21:40 13名出席

- 1 <主たる行事・会議>等の報告:2024年度第4回役員会(9月17日)以降現在まで(植松会長):植松会長から個々の行事に加え、以下の2点。1)10月の総会・講演会・懇親会の準備

と開催に多くの方々のご協力もあり、つつがなく開催できたことに感謝したい。2) 北大の先生方が地域の活性化や時代を先取りする研究成果を上げている講演をお聞きし、OBとして北大で学んだことに矜持と誇りを持たれた。3) 2025年度は「若手に魅力ある同窓会」にしていくことに注力したい。

- 2) 2025年通常総会、特別講演会及び懇親会の計画(福井理事)：開催日程の報告と、札幌農学同窓会関西支部20周年の記念として、秋季講演会に北大出身の作家「岩井圭也」氏を講師として招くということで、今回は北大関西同窓会特別講演を行わない。
- 3) 2025年度の収支報告(入江理事)：収入：年会費納入状況は前年同期並みである。広告費は少なくなっている。支出：10月の総会費は、予算より少なかった。会報の印刷・発送等の経費は、会費5年間未払い者への発送を取りやめたので少なくなっている。この対応による費用抑制効果は、3月号の発送とその後の一年間の経緯を見たとえで、判断したい。
- 4) 2023年12月19日の第一回役員会での議題に対する現況振り返り
1) 会員名簿の管理方法の簡素化：今後の名簿の構想は合意できたが、構想にそって利用できる無料ソフトを選定している。現状は、管理項目を整理し、次のステップに進めたい。2) 会報の電子化発行による、配送方法や会報内容のあり方の見直し：先年度の見直しの根底は「電子化発行に基づく見直し」であったが、発送経費の増加問題に直面し、内容の見直しを行い91号から「内容と分量」を見直した。3) 会費の徴収方法：新しい支払方法は、導入していない。若い人たちに今後の会費納入方法を考えてほしい。4) 会員増強：以下を考えている。①在校時在籍したクラブへの当同窓会の紹介、②若手交流会や他の関西同窓会行事に参加した非会員の方に、関西同窓会会報・ホームページ・Facebookに掲載した情報を見てもらい、同窓会入会の誘因とする。
- 5) 各委員会報告
◇総務・企画委員会(福井委員長)：今期の活動：これまでの活動案に加え、会員のメルアド収集を行う。◇情報処理委員会(岩井委員長)：今年度報告(2024/9~2024.12) 1)HPの会議室予約で入力済の予約が消える不具合へ対応した。2)業者メンテ契約を前年同額で締結した。今年度計画(2025/1~8) 1)HPのお知らせ/イベント報告への情報掲載補助の継続。2)Windows10のサポート期限2025/10/14への対応。3)名簿管理システムの選定・評価・雛形作成。◇産学連携委員会(松下委員長)：今期(9月~12月)の活動報告 報告する活動はありません。今期(2024年9月~2025年8月)の計画 今期は、「北大からの要請待ち」だけではなく、「関西同窓会からの働きかけ」をやっていきたいと思います。◇会報編集委員会(下岡会報編集長)：北大創基150周年に関連した特集を、150年になるまで続けていく。◇会員増強委員会(福井委員長)：現状では、関西同窓会が行う行事と北大会館に分かれた行事となっているので、一体としての運用が図れるようにしていきたい。◇(一社)北大会館活動報告(2024.7~2024.9)(波多代表理事)：9月21日に社員総会を行い、22期の報告と23期の計画が承認された。また、23・24期の社員が決まった。22期は75万円の赤字であった。今後は財政健全化のため5つの方策を順次実施していく。23期のイベントとして、新年会(1月11日)、北大会館祭り(5月31日または同25日)を予定している。会館祭りの講師も大学と相談中。また、理事の改選もあるので、皆さん応募してください。植松会長から、「北大会館と関西同窓会の一般社団法人への統合を考えているので、両団体からメンバーを出して、今後統合プロジェクトを進める。経過は役員会に報告し、総会での承認を受けて、統合を進めたい」との説明があった。
- 6) その他
1) 年間スケジュール作成のお願い、2) 参加者からの本日の議案についてのコメント：会報を電子化していくのは、世の趨勢。それでも紙媒体でほしいという人は出るので、紙媒体を欲しい会員には送料を負担してもらおうとか、電子媒体で良いという会員の会費を引き下げるなどの対応を考えてはどうか？

以上

2025年度 北海道大学関西同窓会 役員名簿

2025年2月11日版

相談役

窪田 開拓	昭36	工
間中 俊夫	昭37	工

会 長

植松 高志	昭48	法
-------	-----	---

理 事 (続き)

間中 仁志	平01	工
茶木 勇博	平12	工
吉田 昌史	平22	工
久保田 幸一	昭45	水
藤田 信良	昭48	水
大村 泰治	昭51	水
入江 和彦	昭45	水
田中 文夫	昭50	水
青木 孝之	昭59	水
中田 邦彦	昭61	水
川邊 一郎	平03	水
前田 直臣	昭43	理
仲村 栄基	昭43	理
鶴浦 勤也	昭45	理
福井 毅	昭55	理
橋本 大志	平01	理
末永 伸正	平04	理
石原 千晶	平04	理
我如古 弥司	平29	理
千田 忠男	昭46	獣
黒澤 努	昭47	獣
藤川 晃成	昭44	医
荒木 常男	昭48	医
塩井 孝	昭57	歯
二階堂 宏夫	昭39	薬
山本 勇	昭47	薬
越 直美	平12	法
杉森 隆志	平13	法
戌角 太一	平22	法
湯川 康史	昭47	経
北浦 和憲	昭51	経
北村 芳久	平06	経
近藤 武憲	平06	経
山中 麻希	平20	経
高瀬 裕介	平13	文

顧問

小久保 隆正	昭30	農
和田 武夫	昭40	農
米田 昌弘	昭30	工
横山 保憲	昭30	工
濱本 富美雄	昭32	工
牧野 俊一	昭37	理
谷口 直之	昭42	医
大野 正浩	昭36	水
水内 修	昭39	経

副会長

山口 利昭	昭39	農
三津 正人	昭45	農
山田 勝重	昭53	農
手島 肇	昭42	工
伊藤 靖久	昭42	工
大橋 人司	昭56	水
佐々木 雅人	昭56	水
三上 陽一	昭37	理
重盛 徹志	昭41	理
織田 健造	昭41	理
山中 幹基	平03	医
井上 泰	昭55	歯
田島 朋子	昭54	獣
山田 正幸	昭37	薬
南里 聖三	昭42	経
小谷 達雄	昭51	文
藤田 久美	昭52	文
福本 駿	昭45	教

評議員

嶋田 誠	昭42	農
志田 智徳	昭35	工
上條 栄治	昭37	工
徳永 徹	昭37	水
吉川 圭一	昭44	水
大野 公男	昭36	理
今川 忠	昭40	理
中山 每木	昭43	薬
梶原 陽二	昭57	文

理 事

日沖 勲	昭40	農
波多 勇	昭43	農
松下 秀之	昭54	農
山本 雅彦	昭54	農
平田 昭夫	平06	農
増谷 俊一	昭40	工
下岡 健藏	昭45	工
井上 和男	昭46	工
前川 以知郎	昭50	工
木村 成二	昭51	工
藪内 晴弘	昭53	工
岩井 隆郎	昭56	工

監査役

福島 正己	昭48	法
小林 孝広	平22	法

北海道大学関西同窓会 2025年3月～2025年10月スケジュール

総務部長 福井 毅 (1980(S55)) 理・生物)

2025年								
	3月		4月		5月		6月	
土曜日	1	(一社) 理事会 (オンライン)	5	(一社) 理事会 (北大会館)	3	(一社) 理事会 (オンライン)	7	(一社) 理事会 (北大会館)
水曜日	5		9	二水会	7	二水会	11	二水会
土曜日	8	札幌農学同窓会 関西支部理事会	12	札幌農学同窓会 関西支部理事会	10	札幌農学同窓会 関西支部理事会	14	
火曜日	11		15		13		17	第三回役員会
水曜日	12	二水会	16		14		18	
金曜日	14		18	三金会	16	三金会	20	三金会
土曜日	15	北水同窓会月例会	19	北水同窓会月例会	17	北水同窓会月例会	21	新歓てんしばジンパ (農・水・獣 合同)
火曜日	18	第二回役員会	22		20		24	
金曜日	21	三金会	25		23		27	
土曜日	29				31	会館祭り		
日曜日	30	歴史ウォーク						
		会報92号発行				校友会エルム理事会		校友会エルム総会

2025年								
	7月		8月		9月		10月	
土曜日	5	(一社) 理事会 (オンライン)	2	(一社) 理事会 (オンライン)	6	(一社) 理事会 (北大会館)	4	琵琶湖ジンパ
水曜日	9	二水会	6		10	二水会	8	二水会
土曜日	12	札幌農学同窓会 関西支部理事会	9	札幌農学同窓会 関西支部理事会	13	札幌農学同窓会 関西支部理事会	11	
火曜日	15		12		16	第四回役員会	14	
金曜日	18	三金会	15		19	三金会	17	
土曜日	19	北水同窓会月例会	16	北水同窓会月例会	20	北水同窓会月例会	18	北水同窓会月例会
日曜日	20		17		21	(一社) 北大会館 社員総会	19	関西同窓会総会 講演会懇親会 札幌農学同窓会 秋季講演会 札幌農学同窓会 関西支部理事会
土曜日	26		23		27	文楽観劇会 (予定)	25	
				北大オープンキャンパス		食品産業エルム会		北大進学相談会
						会報93号発行		歴史ウォーク
						北大ホームカミングデー		

入退会者情報

総務部長 福井 毅 (S55 理・生物)

会報 91 号(2024 年 9 月 3 日集計)以降、2025 年 3 月 7 日までに物故者 9 名、退会者 6 名、住所不明者 9 名、入会者 7 名でした。亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げます。また、退会された方々のこれまでの当同窓会へのご支援ご協力に感謝申し上げます。

物故者

神吉 柳太 (S39 農・農経) 大谷 剛 (S49 理・生動(修)) 吉田 務 (S45 工・冶金)
丸山 英紀 (S45 工・冶金) 石澤 登 (S37 農・農化) 鈴木 尚 (S31 教育)
若杉 康 (S35 水・製造) 遠藤 勝美 (S35 農・農化) 川元 功 (S31 水・遠洋)

入会者

飯沼 和雄 (H10 法) 壇辻 雅博 (S51 獣医) 篠原 繁則 (S51 工・建築)
阿部 孝 (H07 農・農化(修)) 入江 健二 (S47 薬・薬(修)) 田代 純 (H02 法)
大泉 英次 (S52 経済(博))

編集後記

今号も興味深い記事がたくさん寄せられました。昨年10月の関西同窓会総会の特別講演「人間とAIの共存で豊かな未来」(川村秀憲先生)の内容に考えさせられました。社会が加速度的に変革する中で、人間に求められるのは何か?先生は「多様な価値観の探求」と「意思決定能力」の二つを挙げておられます。今こそ、真に人間に叡智が求められている時代だと感じました。波多 勇 (S43)

「より読み易く」を踏襲した第2弾、「A4版・オールカラー・字体も更に1ポイント大きい」冊子で、しかも編集委員による編集・割付で実現しました。編集委員会としましては、歴史的に大いなる前進を果たしたBe ambitious 92号をお届けできたと思っています。如何でしょうか?生まれ変わったBe ambitiousに、あなたにとっての北大の思い出を「特集 母校創基150周年記念」に是非、寄稿いただけないでしょうか。お待ちしております。下岡健藏(S45)

「散る桜 残る桜も 散る桜」江戸時代の曹洞宗の僧侶で歌人でもあった良寛和尚の辞世の句と言われています。尊敬する石澤先輩の突然の逝去に世の無常を感じるのと共に残る人生をいかに有意義に生きるか考える日々です。井上和男 (S46)

92号編集に当り、大変感激したことがありました。92号から94号で「私の『北大創基150周年を思う』の特集を組む」ことになりました。牧野俊一氏(S38 理)は「2025年第64回国立七大学総合体育大会 アイスホッケー部門全勝優勝」と題して寄稿していただきました。この「7大戦」は1962年に北大が主管校で第1回が開催されましたが、その創設に至る当時の苦労談も北大体育会の役員として語っていただきました。フロンティア精神はクラーク博士の教えとして北大に引き継がれています。まさに牧野氏はその実践をされました。今年は第64回で北大が主管校です。総合連覇に期待したいと思います。植松高志 (S48)

昨年4月嵯峨嵐山駅から北大卒業生が起業した発酵食堂カモンカを見学後、渡月橋・天龍寺等を巡った第28回歴史ウォークに初参加し、そのことを同窓会活動として「Be ambitious 第91号」に初投稿しました。今回、なぜか「Be ambitious」編集委員に加わることとなりました。編集委員は人生初経験です。みなさま、宜しく願います。八田方良 (S52)

AI技術の仕組みや可能性を聴いて、AIに少し親近感を覚える機会になりました。先日「感謝状」をAIに創らせてみると、私の案文よりも明らかに受け手が喜びそうな文章が出て来ました。「Be ambitious」の企画もAIに任せる時代が来るかも知れませんね。山田勝重 (S53)

ゆるくない編集の1ヵ月。まさに「なまらこわい」の毎日でした。そんな中、表紙の写真を選ぶため送っていただいた北大構内の写真。エゾエンゴサクとキバナノアマナを懐かしく思い出しました。タンポポにキンポウゲ、通学路で小さな花々を楽しみました。あの花たちは今も咲いているのでしょうか。田島朋子 (S54)

今期も若手北大卒業生対象の交流会を開催しました。会場では参加者の北大愛が爆発!です。開催案内はHpに掲載されるほか、登録したメルアドに届きます。皆さま奮ってご参加ください。同窓会から各種案内ありますので、メルアドの登録をお願いします。福井毅 (S55)

表紙の写真は、札幌在住の吉成久和さん(S49 入学・文学部東洋史学科卒)に提供していただいています。吉成さんは雪崩事故防止を目的に学術研究をするNPO法人「北海道雪崩研究会」の代表を務め、会誌「恵迪」の編集長でもあります。北海道各地で撮影した膨大な写真のうち、季節ごとに北大構内の写真を10枚ほど提供してもらい、編集委員の投票で表紙の写真を決めています。野呂雅之 (S56)

会員獲得のご協力をお願い

会員増強委員長 福井 毅 (S55 理・生物)

本同窓会の更なる発展のため、新たな会員獲得を進めています。皆様のお近くに当会に未入会の同窓生がおられましたら、どうぞ本会への入会をお勧めください。また、当会からもご本人に加入の案内を致しますので、未加入卒業生がおられましたらお知らせください。

北大関西同窓会

E-mail : elmkansai@hokudai-kansai.org

Be ambitiousへの投稿をお願い

当会報は年2回発行され、会員のみ配布される機関誌です。皆様からの自由な投稿をお待ちしております。

1. 内容：北海道大学・北大同窓会及び同窓生に関すること
2. 字数：2,000～3,000字 (2～3頁)
3. 写真・図：1頁当たり2～3枚
4. 宛先：北海道大学関西同窓会編集委員会

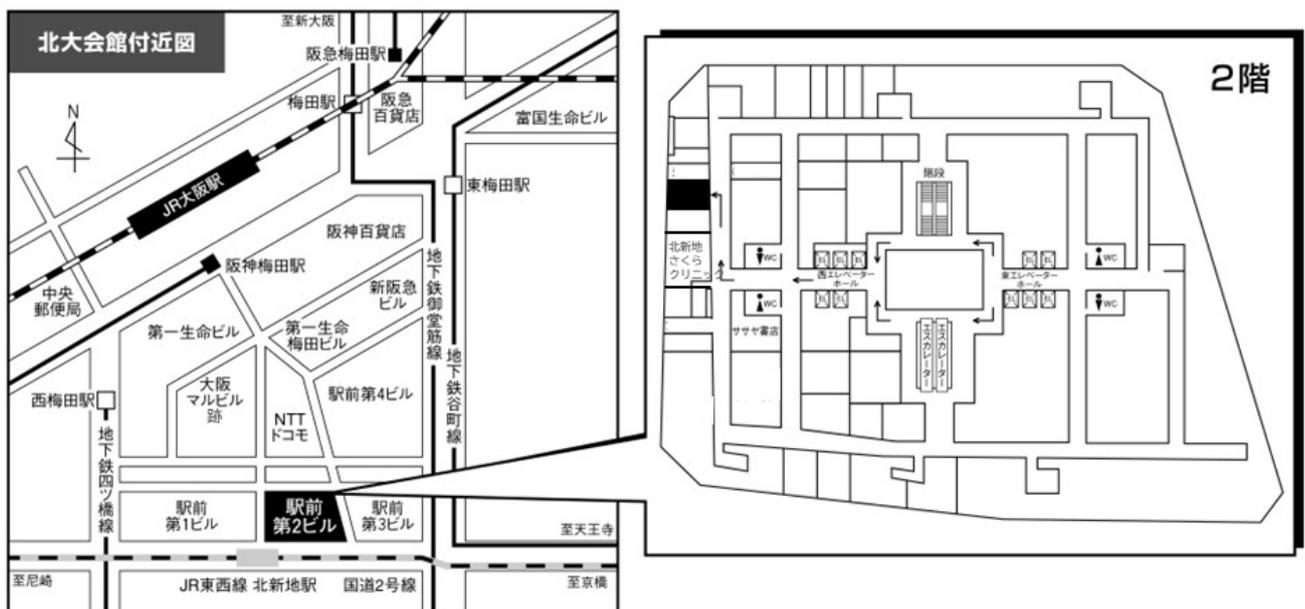
E-mail : elmkansai@hokudai-kansai.org

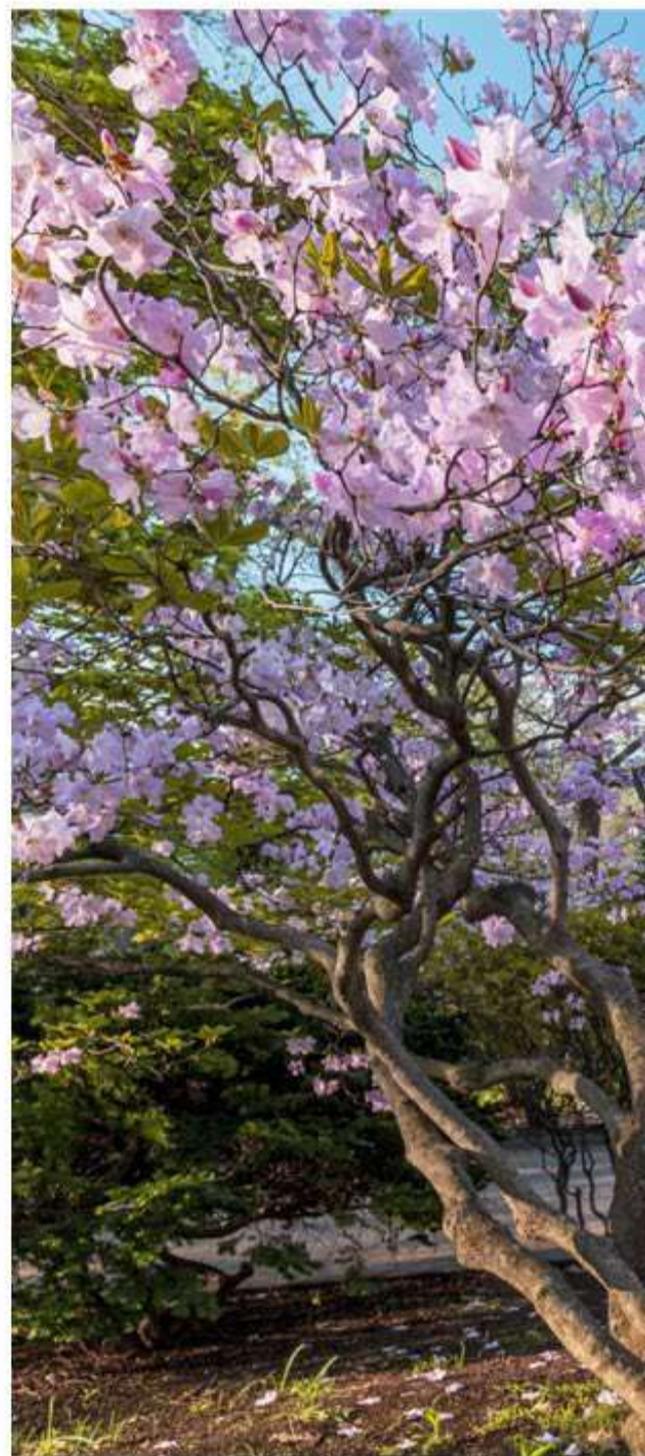
Word原稿で上記メールアドレスまでお送りください。写真はjpgファイルでお送りください。

北海道大学関西同窓会・北大会館所在地

大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル2階北西の隅

阪神百貨店の西側を南へ徒歩2分、梅田DTタワーの南





- 北海道大学関西同窓会会報 第 92号
- 発行日：2025年（令和7年）3月31日
- 編集者：下岡健藏
- 発行者：北海道大学関西同窓会会長
植松高志
- 表紙写真：理学部創部50周年を記念して植樹されたクロフネツツジ。背景は現在の北海道大学総合博物館。吉成久和（1978文）提供
- 発行所：北海道大学関西同窓会
〒538-0043 大阪市鶴見区梅田1丁目2-2-200
大阪駅前第2ビル2階 北大会館内
Tel・Fax：06-6343-3736
E-mail：elmkansai@hokudai-kansai.org
- 印刷所：（有）プリンティングサービス
〒538-0043 大阪市鶴見区今津南2-7-6